

平成30年度定時社員総会

期 日 平成30年6月24日（日）

場 所 味の素ナショナルトレーニングセンター
研修室

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

【第1号議案】

平成29年度事業計画及び決算報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

平成29年度事業報告

本協会は各都道府県協会並びに関係諸団体・組織との連携と協力のもと、ウエイトリフティング競技の発展と普及を図るために次の各種事業を行った。

2020年東京・2024年パリオリンピック対策強化戦略プランを5月に作成、公益財団法人日本スポーツ振興センター（JSC）、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）、国立スポーツ科学センター（JISS）の協力を得て各事業を展開した。また、JISS及びJSCにおけるハイパフォーマンス事業においては、フィットネス、栄養、心理、トレーナー活動を有効に活用させていただいた。結果、6月に日本開催の世界ジュニア選手権大会では男子69kg級宮本昌典選手がスナッチ金メダル、C&ジャーク銀メダル、トータル銀メダルを獲得、男子56kg級益子広幸選手がC&ジャーク銀メダル、トータル銅メダルを獲得。種目別でも女子48kg級高橋いぶき選手がC&ジャーク銅メダル、105kg級岩崎貴之選手がスナッチで銅メダルをそれぞれ獲得、計トータル入賞が男女で6名と活躍した。また、シニアについては11月の世界選手権大会で、男子62kg級糸数陽一選手が男子36年ぶりのメダル（銀）を獲得、女子58kg級安藤美希子選手がリオオリンピックより順位を一つ上げ4位、種目別ではC&ジャークで銀メダルを獲得、男子69kg級近内三孝選手が5位、女子53kg級八木かなえ選手6位、男子62kg級高尾宏明選手が8位とそれぞれ入賞した。今回は9ヶ国の国が過去のドーピング違反行為で不出場となり、2018年は出場していない強国との戦いが予想される。また、日本新記録樹立が多く誕生した年でもあった。シニア男子15・女子10、ジュニア男子21・女子2、大学男子15・女子0、高校男子6・女子2、中学新記録男子6、女子33と強化の成果が現れてきている。2020年東京オリンピックに向い指導者・選手の意識が高まってきている。

長期計画で位置付けた、国際基準での競技運営能力の向上及び国際競技力向上を目指して2016年アジアユース・ジュニア選手権大会及び2017年世界ジュニア選手権大会の開催で運営面、ボランティア活動等実践での経験が出来たことを2020東京オリンピックに活かす。

また、オリンピック競技大会で活躍できる選手の恒久的育成を目標に、ナショナルトレーニングシステム（競技者育成プログラム）に基づいて、公益財団法人日本オリンピック委員会よりの補助、日本アンチドーピング委員会や、国立スポーツ科学センターの協力を得て、各年代のジュニア層研修合宿を実施した。

財政の確立として、平成29年度もオフィシャルスポンサー契約を複数締結できたこと及び免税募金収入の成果もあった。

公益社団法人として、ガバナンスの確保及びコンプライアンスの遵守に努め、本協会の経営・運営を行った。

【公益事業】

I. 競技力向上事業

1. 選手強化事業

競技者が人間の可能性の極限を追求し、国内外の競技会等で活躍することは、国民に誇りや喜び、夢と感動をもたらすと同時に競技の普及・振興に寄与するものである。この目的達成のために、以下の選手強化及び指導者育成に取り組むものである。また、スポーツ医科学の面から支援する必要があるため、国立スポーツ科学センターの各種サポートを活用し効果的な事業を展開した。

(1) 国内合宿

次の目的により国内合宿を公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に事業を実施した。

①2020東京オリンピック候補選手による、2017・2018年世界選手権大会に向けての強化。通年合宿、ナショナル合宿において37の事業を実施した。

②2024パリ・2028ロサンゼルスオリンピックに向けた若手（次世代アスリート育成）選手の強化。合宿として11の事業を実施した。

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
【ナショナル合宿・通年合宿】					
1	国内合宿 1 (4月通年合宿)	4/01~4/30	1名	1名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (ナショナル合宿 男子)	4/10~4/19	5名	8名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (ナショナル合宿 女子)	4/12~4/19	3名	8名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (5月通年合宿)	5/01~5/31	2名	1名	東京都 NTC
5	国内合宿 5 (世界選手権大会候補合宿 女子)	5/06~5/17	3名	5名	福島県 郡山市
6	国内合宿 6 (世界選手権大会候補合宿 男子)	5/08~5/25	3名	4名	東京都 NTC
7	国内合宿 7 (6月通年合宿)	6/01~6/30	3名	3名	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (世界選手権大会候補合宿 男子)	6/26~7/08	5名	8名	東京都 NTC
9	国内合宿 9 (7月通年合宿)	7/01~7/31	2名	2名	東京都 NTC
10	国内合宿 10 (世界選手権大会候補合宿 女子)	7/06~7/15	4名	10名	新潟県 津南町
11	国内合宿 11 (ドイツチームとの合同合宿 男子)	7/23~8/12	9名	18名	東京都 NTC
12	国内合宿 12 (8月通年合宿)	8/01~8/31	1名	2名	東京都 NTC
13	国内合宿 13 (世界選手権大会候補合宿 女子)	8/03~8/15	3名	8名	高知県 高知市
14	国内合宿 14 (大学選抜合宿 男女)	8/07~8/13	2名	17名	新潟県 津南町
15	国内合宿 15 (ユニバーシアード代表合宿 男女)	8/07~8/15	5名	12名	東京都 NTC
16	国内合宿 16 (9月通年合宿)	9/01~9/30	2名	2名	東京都 NTC
17	国内合宿 17 (世界選手権大会候補合宿 男子)	9/10~9/22	4名	7名	北海道 士別市
18	国内合宿 18 (世界選手権大会候補合宿 女子)	9/10~9/23	4名	7名	宮崎県 宮崎市
19	国内合宿 19 (アジアインドアゲーム事前合宿 男女)	9/11~9/13	2名	1名	東京都 NTC
20	国内合宿 20 (10月通年合宿)	10/01~10/31	1名	2名	東京都 NTC
21	国内合宿 21 (世界選手権大会代表合宿 女子)	10/15~11/01	6名	10名	東京都 NTC
22	国内合宿 22 (世界選手権大会代表合宿 男子)	10/16~11/01	5名	7名	東京都 NTC
23	国内合宿 23 (11月通年合宿)	11/01~11/30	1名	2名	東京都 NTC
24	国内合宿 24 (世界選手権大会代表合宿 男子)	11/08~11/27	8名	8名	東京都 NTC
25	国内合宿 25 (世界選手権大会代表合宿 女子)	11/09~11/24	8名	8名	東京都 NTC
26	国内合宿 26 (12月通年合宿)	12/01~12/31	2名	1名	東京都 NTC
27	国内合宿 27 (2018年世界選手権候補合宿 男子)	12/11~12/22	3名	10名	東京都 NTC
28	国内合宿 28 (2018年世界選手権候補合宿 女子)	12/19~12/28	3名	6名	沖縄県 国頭村
29	国内合宿 29 (1月通年合宿)	1/01~1/31	3名	2名	東京都 NTC
30	国内合宿 30 (2018年世界選手権候補合宿 男子)	1/08~1/20	3名	7名	沖縄県 国頭村
31	国内合宿 31 (2018年世界選手権候補合宿 女子)	1/09~1/20	3名	8名	高知県 高知市
32	国内合宿 32 (2月通年合宿)	2/01~2/28	2名	1名	東京都 NTC
33	国内合宿 33 (2018年世界選手権候補合宿 男子)	2/05~2/13	6名	11名	東京都 NTC
34	国内合宿 34 (2018年世界選手権候補合宿 女子)	2/18~3/3	3名	8名	高知県 高知市
35	国内合宿 35 (3月通年合宿)	3/01~3/31	2名	1名	東京都 NTC
36	国内合宿 36 (2018年世界選手権候補合宿 男子)	3/05~3/23	8名	12名	東京都 NTC
37	国内合宿 37 (2018年世界選手権候補合宿 女子)	3/12~3/24	3名	8名	東京都 NTC

No.	合 宿 名	期 間	指導者数	選手数	場 所
【次世代アスリート育成合宿】					
1	国内合宿 1 (世界ジュニア選手権代表合宿 男女)	5/02~5/07	7名	16名	東京都 NTC
2	国内合宿 2 (世界ジュニア選手権代表合宿 男女)	6/11~6/17	8名	16名	東京都 NTC
3	国内合宿 3 (アジアジュニア・ユース事前合宿 男女)	7/17~7/20	6名	7名	東京都 NTC
4	国内合宿 4 (日韓中ジュニア交流会事前合宿 男女)	8/21~8/24	6名	15名	茨城県 石岡市
5	国内合宿 5 (中学選抜合宿 男女)	10/14~10/15	16名	12名	東京都 NTC
6	国内合宿 6 (2018年世界ジュニア選手権候補合宿 男女)	1/07~1/14	7名	13名	東京都 NTC
7	国内合宿 7 (中学選抜合宿 男女)	1/27~1/28	17名	17名	東京都 NTC
8	国内合宿 8 (特別強化合宿 男子)	2/12~2/25	5名	11名	東京都 NTC
9	国内合宿 9 (特別強化合宿 女子)	2/12~2/25	5名	12名	静岡県 静岡市
10	国内合宿 10 (特別強化合宿 男子)	3/12~3/22	5名	4名	東京都 NTC
11	国内合宿 11 (特別強化合宿 女子)	3/12~3/22	4名	12名	石川県 金沢市

(2) 海外合宿

- ① 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際力（国際人の養成）の強化も目的の一つとして、大学生を対象に次のとおり実施した。
- 合宿名 : アメリカ合宿
期間 : 平成30年2月7日～2月27日
場所 : アメリカ合衆国 ルイジアナ州立大学シュリーブポート校
指導者 : 3名（加藤智子、内之倉和幸、武井誠一郎）
参加者 : 6名（友清賢人、駒田凌一、知念勇斗、松本奈々、中嶋梨香子、川野 凌）
内容 : 英会話（150分/計10回）
トレーニング方法論、技術論を学習し、各自で自身のプログラムを作成し、それに基づきトレーニングを行った。また、参加学生はホームステイを利用し、異文化の交流とコミュニケーションをとった。
- ② 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、2018年世界選手権大会に向けて女子ナショナル選手を対象に次のとおり実施した。
- 合宿名 : グアム合宿
期間 : 平成30年1月28日～2月10日（女子）
場所 : アメリカ合衆国 グアム
指導者 : 1名（今銚一恵）
参加者 : 4名（柳田瑞希、佐渡山彩奈、吉田朱音、見附絵莉）
内容 : 基礎体力向上と補助種目の強化を目的に合宿を実施した。温暖な気候及び施設面から、陸上トレーニング、水泳トレーニングも取り入れ効果的な合宿であった。
- ③ 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、2018年世界選手権大会に向けて男子ナショナル選手を対象に次のとおり実施した。
- 合宿名 : ドイツ合宿
期間 : 平成30年2月13日～2月24日
場所 : ドイツ連邦共和国 ベルリン市 キエムバウム
指導者 : 3名（小宮山哲雄、鈴木誠二、山田政晴）
参加者 : 10名（糸数陽一、高尾宏明、近内三孝、宮本昌典、笠井武広、持田龍之輔、白石宏明、村上英士朗、知念光亮、野中雅浩）
内容 : 日本と競技レベルが同じドイツ国との合同合宿を、規定種目及び補助種目の強化を目的に実施した。

(3) 外国チームとの合同合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会及び韓国・国民生活体育会との共催事業であり、次代を担う若手選手の育成と国際交流の促進を目的に、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、次のとおり実施した。

- ①合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業（派遣）
期間 : 平成29年10月31日～11月5日
場所 : 大韓民国高揚市（Goyang-city）ジャンミラン体育館
指導者 : 5名（JOC強化スタッフ）
選手 : 15名（男子8名、女子7名）
内容 : 韓国ジュニアチーム監督の作成したトレーニングメニューにより実施。
- ②合宿名 : 日韓競技力向上スポーツ交流事業（受入）
期間 : 平成29年12月2日～12月7日
場所 : 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者 : 日本 5名（JOC強化スタッフ）（通訳2名）
韓国 5名
選手 : 日本 14名（男子7名、女子7名）
韓国 15名（男子8名、女子7名）
内容 : 日本ナショナルチームの作成したトレーニングメニューにより実施。

日本の競技レベルと同等で、以前より交流合宿を実施しているドイツ国を招き、合同トレーニングを行った。また、ドイツのフィードバックシステムビデオでフォームの確認し、また、トレーニング内容についても論議し、有意義な合宿を実施した。

- ③合宿名 : ドイツチーム合同練習
期間 : 平成29年7月23日～8月5日
場所 : 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者 : 日本 5名（小宮山哲雄、松尾謙資、堀越典昭、加藤智子、細川翔平）
ドイツ 2名（男子ヘッドコーチ：デビット、ジュニアコーチ：ミハエル）
選手 : 日本 9名（本木和真、糸数陽一、高尾宏明、宮本昌典、笠井武広、山本俊樹、白石宏明、持田龍之輔、知念光亮）

ドイツ 6名 (男子5名、女子1名)

(4) 国際競技会への派遣

国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点(一定レベルの競技力を有する)から年代別の競技会に優秀選手を選考・派遣し競技力の向上に努めた。公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)のチーム派遣事業として、次の大会へ指導者・選手を派遣した。

日韓中ジュニア交流競技会については、日本体育協会の直轄事業として実施した。

① 世界ユース選手権大会「次世代アスリート育成強化事業」

開催期間 : 平成29年4月4日～4月10日
 派遣期間 : 平成29年4月1日～4月11日
 場 所 : タイ王国 バンコク市
 派遣人数 : 指導者6名
 (小宮山哲雄、鈴木宗徹、佐藤和夫、浅田久美、吉野岳、石川洋平)
 男子選手3名
 (山口優人、船城優輝、佐藤康太郎)
 女子選手6名
 (山下笑佳、奥村紀香、安藤千鈴、具志堅莉奈、橋本董、中島一馨)
 計15名

[男子成績]

階 級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
50kg級	THA 216	VIE 216	CHN 213	THA 212	CHN 210	COL 205	PRK 204	INA 200
56kg級	CHN 241	IND 240	TUR 237	CHN 236	PRK 232	KSA 222	KAZ 220	AZE 219
62kg級	KAZ 281	CHN 276	INA 267	COL 263	CHN 258	TPE 257	AZE 252	TKM 251
69kg級	USA 322	PRK 306	CHN 306	ROU 293	BLR 289	CHN 287	THA 285	KAZ 284
77kg級	USA 332	RUS 312	KAZ 306	POL 297	UKR 296	ITA 293	IRI 292	IRI 281
85kg級	KAZ 323	POL 318	IRI 304	TUR 301	OMA 298	UZB 297	IRI 295	RUS 295
94kg級	BUL 321	GRE 316	UZB 311	UZB 305	RUS 301	SVK 295	UKR 293	IRI 291
+94kg級	BLR 360	RUS 352	IRI 347	IRI 347	TPE 346	TUR 315	GEO 311	HUN 302

[日本男子成績]

56kg級 山口優人 S ① 90 ② 90 ③ 90- C&J ① 110 ② 116 ③ 116 T 0
 69kg級 佐藤康太郎 S ① 110 ② 110 ③ 115 C&J ① 138 ② 145 ③ 146 T 261 19位
 69kg級 船城優輝 S ① 110 ② 115 ③ 115 C&J ① 125 ② 130 ③ 135 T 245 29位

[女子成績]

階 級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
44kg級	CHN 164	COL 160	PRK 157	CHN 152	ROU 139	INA 138	TUR 132	IND 132
48kg級	PRK 181	CHN 179	THA 158	VIE 157	ROU 157	MEX 156	COL 154	BUL 152
53kg級	CHN 189	PRK 188	UKR 186	CHN 186	COL 185	ROU 178	MEX 177	AZE 173
58kg級	TUR 191	UKR 186	UZB 185	BLR 184	THA 183	ROU 180	ROU 179	INA 179
63kg級	CHN 210	KAZ 201	CHN 199	TUN 196	MEX 195	VEN 193	ROU 188	VEN 187
69kg級	ECU 220	COL 209	KAZ 207	UZB 188	RUS 182	TUR 180	THA 180	VEN 178
75kg級	KAZ 211	UZB 197	MEX 196	USA 192	MGL 190	KAZ 188	SVK 187	VEN 185
+75kg級	RUS 223	AUT 218	USA 210	UKR 209	THA 208	ECU 207	UZB 205	KAZ 202

[日本女子成績]

44kg級 山下笑佳 S ① 56 ② 58MR ③ 60 C&J ① 67 ② 69 ③ 71MR T 129MR 9位
 48kg級 安藤千鈴 S ① 57 ② 57 ③ 59 C&J ① 75 ② 78 ③ 81 T 137 20位
 48kg級 奥村紀香 S ① 60 ② 60 ③ 62 C&J ① 68 ② 70 ③ 72 T 132 21位
 58kg級 具志堅莉奈 S ① 74 ② 77 ③ 80 C&J ① 87 ② 87 ③ 89 T 166 17位
 63kg級 橋本董 S ① 70 ② 73 ③ 73 C&J ① 90 ② 93 ③ 96 T 166 19位

② アジア選手権大会「NF強化事業」

開催期間 : 平成29年4月25日～4月28日
 派遣期間 : 平成29年4月21日～4月29日
 場 所 : トルクメニスタン アシガバード市
 派遣人数 : 指導者4名 (小宮山哲雄、堀越典昭、今銚一恵、城内史子)

選手10名
 (笠井武広、山本俊樹、矢葺士、赤松哲郎、白石宏明、持田龍之輔、
 佐渡山彩奈、見附絵莉、吉田朱音、神谷歩、トレーナー鳥居明)
 計 14名

[男子成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	参加
56kg級	CHN 273	CHN 272	VIE 271	KSA 243	PAK 231	KUW 200	6人
62kg級	PRK 301	VIE 299	CHN 295	UZB 286	KOR 281	TKM 277	11人
69kg級	KAZ 335	PRK 331	PRK 325	UZB 311	CHN 306	TKM 297	9人
77kg級	CHN 355	TKM 343	KOR 340	KAZ 334	IRI 332	UZB 328	14人
85kg級	KAZ 356	IRI 352	JPN 351	KOR 350	IRI 347	TKM 341	11人
94kg級	UZB 380	IRI 372	KOR 317	JPN 308	IRI 297	KUW 270	10人
105kg級	IRI 398	KOR 390	IRI 384	JPN 376	UZB 375	JPN 368	13人
+105kg級	UZB 437	TPE 428	TKM 427	IRI 417	IRI 416	KOR 401	8人

[日本男子成績]

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
77kg級	笠井 武広	(ALSOK)	137	141	144	175	181	184	322	7
85kg級	山本 俊樹	(ALSOK)	145	152	152	185	192	199	351	3
94kg級	赤松 哲郎	(釘宮クリニック)	140	140	140	165	170	170	0	-
94kg級	矢葺 士	(愛媛県国体局)	135	135	141	165	170	173	308	4
105kg級	持田龍之輔	(ALSOK)	160	167	172	204	212	216	376	4
105kg級	白石 宏明	(自衛隊体育学校)	155	160	168	200	207	208	368	7

国別団体順位 1位 IRI 562点 3位 UZB 516点 5位 日本 336点
 2位 CHN 548点 4位 TKM 486点 6位 KOR 330点

【新記録樹立】

日本新記録 85kg級 山本俊樹 (ALSOK) C&J 199kg

[女子成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	参加数
48kg級	THA 190	VIE 183	TKM 165	TJK 101	VIE -		5人
53kg級	CHN 200	THA 190	TKM 182	THA 175	JPN 163	KAZ 163	10人
58kg級	TPE 241	CHN 219	PRK 218	CHN 216	THA 204	KOR 201	9人
63kg級	PRK 237	THA 231	TPE 231	CHN 228	KAZ 209	KOR 208	13人
69kg級	CHN 233	KOR 230	TPE 228	TKM 212	KAZ 208	TPE 202	12人
75kg級	CHN 250	KOR 237	TPE 233	UZB 224	MGL 214	JPN 208	11人
90kg級	CHN 245	TPE 231	UZB 204	IRQ 201	SYR 171	TKM 155	7人
+90kg級	CHN 299	THA 292	THA 268	KAZ 247			4人

[日本女子成績]

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
53kg級	佐渡山彩奈	(いちご株式会社)	68	70	72	91	94	94	163	5
63kg級	見附 絵莉	(大阪府警)	88	88	90	108	110	112	202	7
63kg級	吉田 朱音	(自衛隊体育学校)	84	87	87	110	113	121	200	8
75kg級	神谷 歩	(金沢学院大学職員)	93	100	100	105	110	115	208	6

国別団体順位 1位 CHN 623点 4位 TKM 419点 7位 日本 233点
 2位 THA 445点 5位 KAZ 308点
 3位 TPE 436点 6位 KOR 265点

③ 世界ジュニア選手権大会「次世代アスリート育成強化事業」

開催期間 : 平成29年6月16日～6月23日
 派遣期間 : 平成29年6月13日～6月24日
 場所 : 東京都 大田区総合体育館
 派遣人数 : 指導者7名
 (小宮山哲雄、菊田三代治、新井健一、小畑直之、野澤雄一、高倉玄喜、
 柴田里穂)
 男子選手8名
 (益子広幸、平井海斗、木村勇喜、宮本昌典、山根大地、柳川友章、
 岩崎貴之、丸山大翔)
 女子選手8名
 (高橋いぶき、新川百音、谷口莉奈、山村侑生、寺島奈穂、谷口さつき
 大塚優子、知念ひめの)
 計23名

〔男子成績〕

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
56kg級	CHN 258	VIE 249	JPN 244	KOR 241	GER 236	TUR 235	TPE 235	JPN 232
62kg級	CHN 290	COL 281	TUR 273	BLR 271	GER 271	ECU 270	TPE 262	KOR 260
69kg級	USA 321	JPN 320	KOR 305	ITA 304	COL 302	ROU 298	VIE 296	IRI 295
77kg級	COL 356	UZB 338	RUS 335	LAT 334	COL 333	KOR 332	CHN 330	CHN 323
85kg級	QAT 353	VEN 348	GEO 347	CHN 346	COL 346	ARM 340	ARM 339	BLR 337
94kg級	UZB 390	BLR 378	IRI 364	UKR 363	CAN 355	CHN 340	AZE 334	GER 331
105kg級	IRI 369	GEO 368	ARM 365	GEO 356	ALG 356	UZB 352	JPN 343	USA 333
+105kg級	ARM 426	GEO 406	SRB 403	BLR 381	BLR 376	FRA 364	IRI 362	RUS 354

〔日本男子成績〕

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位	
56kg級	益子広幸	(日本大学)	98	102	105	128	132	139②	244	3位	
56kg級	平井海斗	(東京国際大学)	93	97	100	124	128	135	232	8位	
62kg級	木村勇喜	(早稲田大学)	105	105	112	125	130	130	230	16位	
69kg級	宮本昌典	(東京国際大学)	139	142	147①	168	173②	178	320	2位	
69kg級	山根大地	(日本大学)	123	128	132	150	154	157	282	13位	
77kg級	柳川友章	(名古屋産業大学)	128	131	134	151	151	156	287	20位	
105kg級	岩崎貴之	(九州国際大学)	152	157	163③	171	177	180	343	7位	
+105kg級	丸本大翔	(九州国際大学)	142	142	147	181	181	186	328	9位	
種目別メダル獲得者	56kg級	益子広幸	C&ジャーク 2位			トータル 3位					
	"	69kg級	宮本昌典	スナッチ 1位		C&ジャーク 2位		トータル 2位			
	"	105kg級	岩崎貴之	スナッチ 3位							

〔新記録〕 ジュニア日本新記録 69kg級 宮本昌典 S147kg トータル320kg

男子団体戦	1位	IRI	423点	3位	CHN	391点	5位	BLR	339点
	2位	日本	394点	4位	COL	346点	6位	TPE	330点

〔女子成績〕

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
48kg級	THA 179	THA 174	BRA 169	ECU 166	JPN 166	USA 165	USA 164	ITA 159
53kg級	CHN 197	UKR 188	BLR 186	RUS 185	USA 183	THA 180	CAN 165	MEX 165
58kg級	LAT 219	CHN 218	THA 213	ESP 200	COL 195	TUR 193	TUR 193	KOR 192
63kg級	CHN 239	CHN 236	ROU 213	USA 213	MEX 211	COL 209	KOR 200	TPE 189
69kg級	CHN 230	GBR 225	UKR 223	ECU 222	RUS 221	UKR 212	USA 206	CAN 202
75kg級	ECU 242	UKR 230	ARM 223	ECU 220	RUS 209	JPN 207	RUS 207	USA 206
90kg級	CHN 240	FIJ 229	UKR 227	RUS 222	RUS 219	MEX 201	UKR 196	TPE 196
+90kg級	CHN 281	THA 260	ECU 246	ARM 234	UKR 233	KOR 228	TPE 210	ECU 208

〔日本女子成績〕

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
48kg級	高橋いぶき	(金沢学院大学)	66	68	70	90	93	96③	166	5位
48kg級	新川百音	(早稲田大学)	62	65	68	80	83	85	150	11位
53kg級	谷口莉奈	(金沢学院大学)	67	67	70	89	93	94	164	10位
58kg級	山村侑生	(東京国際大学)	76	78	80	98	101	103	181	12位
58kg級	寺島奈穂	(金沢学院大学)	74	77	77	95	100	100	169	15位
63kg級	谷口さつき	(金沢学院大学)	78	80	80	97	101	104	184	10位
75kg級	知念ひめの	(平成国際大学)	84	87	90	108	113	117	207	6位
+75kg級	大塚優子	(東京国際大学)	84	87	87	104	107	110	197	9位

種目別メダル獲得者 48kg級 高橋いぶき C&ジャーク 3位

女子団体戦	1位	CHN	571点	4位	USA	432点	7位	日本	380点
	2位	UKR	509点	5位	RUS	420点			
	3位	ECU	491点	6位	TPE	383点			

④ アジアユース・ジュニア選手権大会「次世代アスリート育成強化事業」

開催期間 : 平成29年7月24日～7月28日

派遣期間 : 平成29年7月21日～7月30日

場 所 : ネパール王国 カトマンズ市
 派遣人数 : 指導者 4名 (本多達雄、川畑勉、原徹、加藤智子)
 選手 7名 (北出光茂、原勇輝、関根萌莉、栗野稚佳子、原沙織、
 武藤理恵瑠、山崎晴子)
 計 11名

[男子ユース成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
50kg級	THA 222	THA 217	VIE 215	VIE 212	PHI 198	PAK 174	SRI 173	SRI 168
56kg級	CHN 230	KSA 230	THA 212	VIE 208	TPE 205	KSA 198	NEP 137	
62kg級	KAZ 280	TPE 264	UZB 245	KGS 244	THA 241	THA 209	JOR 170	NEP 135
69kg級	THA 282	IRI 277	CHN 276	VIE 208	UZB 270	TPE 260	KSA 259	KGZ 250
77kg級	UZB 304	IRI 296	KAZ 296	CHN 272	UZB 271	OMA 261	KGZ 260	TPE 255
85kg級	KAZ 323	IRI 305	UZB 304	OMN 299	IRI 287	KGZ 281	TPE 277	KSA 265
94kg級	UZB 321	UZB 309	KOR 291	IRI 275	KGZ 270	KOR 226	NEP 178	
+94kg級	IRI 348	IRI 328	TPE 327	PAK 265				

[男子団体]

1位	UZB	549点	3位	IRI	502点	5位	KSA	300点
2位	THA	536点	4位	TPE	448点	6位	KGZ	297点

[女子ユース成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
44kg級	IND 127	TPE 103						
48kg級	CHN 163	THA 152	VIE 151	JPN 147	TPE 137	UZB 136		
53kg級	CHN 191	THA 159	TPE 158	TPE 141	KOR 136	NEP 91		
58kg級	CHN 195	THA 191	UZB 160	IRQ 148	MYA 144	KOR 109		
63kg級	PRK 208	CHN 197	UZB 197	CHN 196	THA 185	KOR 174	UZB 173	MGL169
69kg級	KAZ 200	UZB 197	IND 178	JPN 163	KGZ 145			
75kg級	UZB 200	TPE 175	KOR 173	IND 161				
+75kg級	CHN 229	THA 210	KAZ 204	TPE 190	UZB 186			

[女子団体]

1位	TPE	501点	3位	CHN	472点	5位	KOR	322点
2位	UZB	479点	4位	THA	358点	6位	IND	270点

[女子日本選手]

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
44kg級	武藤理恵瑠	(橋立中学校)	62	62	64	72	72	72		—
48kg級	原沙織	(前橋育英高校)	62	65③	65	79	82	85	147	4位
53kg級	山崎晴子	(新居浜南高校)	70	75	75	90	93	95	163	4位

※原沙織選手スナッチ3位

[男子ジュニア成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
56kg級	VIE 258	VIE 251	CHN 246	THA 238	CHN 230	PHI 230	KSA 230	IRQ 226
62kg級	CHN 287	KAZ 280	VIE 280	VIE 277	PRK 272	IND 259	KOR 251	UZB 245
69kg級	PRK 312	KOR 310	IRI 299	VIE 296	IRI 280	IND 279	CHN 276	UZB 270
77kg級	KOR 324	KAZ 320	IND 315	IRI 308	KSA 305	UZB 304	KAZ 296	JPN 287
85kg級	KOR 347	TPE 336	KAZ 323	IRI 311	TPE 310	UZB 304	OMA 299	KSA 292
94kg級	QTA 375	UZB 321	KSA 320	THA 319	IRQ 319	UZB 309	IND 305	TPE 300
105kg級	IRI 360	CHN 337	IND 331	NEP 207				
+105kg級	IRI 362	CHN 357	IRI 344	TPE 341	AFG 270			

[男子団体]

1位	IRI	523点	3位	UZB	447点	5位	VIE	367点
2位	CHN	482点	4位	KSA	430点	6位	NEP	354点

[日本男子成績]

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
56kg級	北出光茂	(明治大学)	93	96	99	120	125	129	221	9位

77kg級 原 勇輝 (中央大学) 120 127 127 160 166 171 287 8位

[女子ジュニア成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
48kg級	THA 180	THA 172	VIE 169	MYA 162	IND 158	CHN 154	JPA 147	UZB 136
53kg級	CHN 191	THA 170	PHI 166	IND 159	MYA 155	NEP 140	NEP 91	
58kg級	PRK 212	CHN 208	THA 201	CHN 195	TPE 192	KOR 175	IND 164	UZB 160
63kg級	PRK 208	MGL 198	CHN 197	UZB 197	CHN 196	KOR 196	TPE 180	PHI 180
69kg級	CHN 226	VIE 204	KAZ 200	UZB 197	IND 178	JPA 189	MYA 183	TPE 181
75kg級	MGL 213	VIE 201	UZB 200	TPE 191	JPN 189	MYA 183	TPE 181	
90kg級	IRQ 200	MGL 193	UZB 186	TPE 186				
+90kg級	THA 259	KAZ 241	CHN 229	JPA 210	KAZ 206			

[女子団体]

1位	CHN	568点	3位	THA	386点	5位	IND	295点
2位	UZB	505点	4位	TPE	377点	6位	JPN	262点

[日本女子成績]

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
75kg級	関根絵莉	(平成国際大学)	83	83	83	104	104	106	189	5位
+90kg級	栗野稚佳子	(日本体育大学)	90	94	96	108	114	119	210	4位

⑤ アジアインドアゲーム「NF強化事業」

開催期間 : 平成29年9月18日～9月24日
 派遣期間 : 平成29年9月13日～9月27日
 場 所 : トルクメニスタン アシガバード市
 派遣人数 : 指導者 1名(殿村康)、選手1名(神谷歩)、計2名

[女子75kg級 成績]

順位	国名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T
1位	MGL	100	100	105①	121	125	130②	235
2位	UZB	95	99	101③	120	124	130①	231
3位	神谷歩	100	103	105②	115	119④	123	224

⑥ アジアカップ選手権大会「NF強化事業」

開催期間 : 平成29年10月28日～11月 2日
 派遣期間 : 平成29年10月27日～11月 3日
 場 所 : 大韓民国 高陽市
 派遣人数 : 指導者 2名(松村博司、土居雅典)、選手2名(多田佳弘、野中雅浩)
 計 4名

[男子105kg級]

順位	国名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T
1位	UZB	165	169	173①	194	198	201①	374
2位	KOR	155	161	166②	191	196	200②	366
3位	多田佳弘	150	156	160③	190	195④	200	355

[男子+105kg級]

順位	国名	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T
1位	IRI	175	183	190①	210	218	225②	401
2位	野中雅浩	160	160	165②	205	217	223①	383
3位	KOR	150	161	161③	180	181	190③	331

⑦ 世界選手権大会(男子・女子)「NF強化事業」

開催期間 : 平成29年11月28日～12月6日
 派遣期間 : 平成29年11月22日～12月8日
 場 所 : アメリカ合衆国 アナハイム市
 派遣人数 : 指導者10名
 (三宅義行、上治丈太郎、小宮山哲雄、松尾謙資、堀越典昭、小畑直之、山田政晴、今鋒一恵、細川翔平、柴田里穂)
 選手 15名(男子8名、女子7名)

(高尾宏明、糸数陽一、近内三孝、笠井武広、山本俊樹、白石宏明、
持田龍之輔、柳田瑞希、高橋いぶき、八木かなえ、安藤美希子、見附絵莉、
吉田朱音、神谷歩、嶋本麻美)
計 25名

[男子成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
56kg級	VIE 279	VIE 270	THA 267	COL 266	ESP 258	KSA 250	PER 240	FIJ 238
62kg級	CHN 300	JPA 299	GEO 298	UZB 292	MEX 291	MEX 289	KOR 288	JPN 286
69kg級	KOR 326	THA 321	FRA 318	ALB 317	JPN 317	UZB 314	GER 311	ITA 309
77kg級	EGY 361	TKM 352	USA 348	KOR 352	ESP 344	ALB 314	GER 311	ITA 309
85kg級	CHI 378	POL 359	ITA 358	KOR 352	GEO 351	FRA 349	IRI 348	GER 341
94kg級	IRI 417	LTU 388	IRI 385	QAT 383	EGY 378	CAN 366	BRA 360	USA 358
105kg級	IRI 340	LAT 402	UZB 399	KOR 394	POL 393	BUL 392	IRI 392	ESP 391
+105kg級	GEO 477	IRI 454	IRI 453	UZB 447	EST 444	BRA 440	CZE 422	ALG 420

[日本男子成績]

62kg級	糸数陽一 (警視庁)	S 130	130	134	C&J 161	165	170	T299	2位
62kg級	高尾宏明 (自衛隊体育学校)	S 122	126	126	C&J 152	152	160	T286	8位
69kg級	近内三孝 (日本大学4年)	S 133	138	141	C&J 168	176	181	T317	5位
77kg級	笠井武広 (ALSOK)	S 137	142	145	C&J 175	182	182	T317	17位
85kg級	山本俊樹 (ALSOK)	S 148	153	153	C&J 192	193	202	T341	10位
105kg級	持田龍之輔 (ALSOK)	S 165	165	165	C&J 208	217	218	T373	14位
105kg級	白石宏明 (自衛隊体育学校)	S 155	160	160	C&J 195	205	205	T350	17位

男子団体

1位	イラン	509点	4位	スペイン	340点
2位	韓国	434点	5位	コロンビア	337点
3位	ウズベキスタン	343点	6位	日本	317点

[女子成績]

階級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
48kg級	IND 194	THA 193	COL 182	VIE 180	THA 179	ROU 177	USA 177	FRA 175
53kg級	THA 210	TKM 204	PHI 199	THA 198	POL 198	JPN 195	USA 194	MEX 184
58kg級	TPE 240	THA 225	LAT 222	JPN 219	ECU 218	MEX 212	COL 207	ALB 203
63kg級	ROU 237	COL 225	COL 225	THA 225	CAN 224	GBR 209	ITA 208	TPE 208
69kg級	COL 239	ALB 235	USA 235	COL 233	MEX 236	TPE 225	ITA 222	SWE 221
75kg級	ESP 258	ECU 240	FRA 237	MEX 236	USA 234	TPE 228	CAN 227	CAN 227
90kg級	GEO 265	CHI 255	DOM 254	ECU 246	USA 239	ECU 234	USA 231	TPE 229
+90kg級	USA 284	NZL 275	EGY 268	THA 267	MEX 261	ECU 251	POL 232	HUN 228

[日本女子成績]

48kg級	柳田瑞季 (九州国際大学・職)	S 70	72	74	C&J 90	93	95	T169	10位
48kg級	高橋いぶき (金沢学院大学3年)	S 68	70	72	C&J 90	90	92	T162	14位
53kg級	八木かなえ (ALSOK)	S 82	85	85	C&J 107	110	112	T195	6位
58kg級	安藤美希子 (株・キュアリアス)	S 93	93	95	C&J 123	126	130	T219	4位
					(NR)		(NS)		
63kg級	吉田朱音 (自衛隊体育学校)	S 87	90	92	C&J 112	115	117	T207	9位
63kg級	見附絵莉 (大阪府警)	S 88	88	92	C&J 110	112	115	T203	11位
75kg級	神谷歩 (金沢学院大学・職)	S 98	98	103	C&J 117	121	124	T219	11位
90kg級	嶋本麻美 (金沢学院大学・職)	S 100	105	108	C&J 112	120	125	T220	11位

[女子団体]

1位	タイ	495点	4位	エクアドル	439点
2位	アメリカ	467点	5位	メキシコ	402点
3位	コロンビア	466点	6位	日本	398点

JOCの直轄事業(チーム派遣事業)として、次の大会へ選手・指導者を派遣した。

① ユニバーシアード競技大会

開催期間 : 平成29年8月20日～8月25日
 派遣期間 : 平成29年8月16日～8月27日
 場 所 : 台湾 タイペイ市
 派遣人数 : 指導者5名

(岡田純一、新井健一、野澤雄一、加藤智子、小畑直之)
 選手12名(男子6名、女子6名)
 (妹尾侑哉、宮本昌典、近内三孝、屋良一郎、村上英士朗、知念光亮、
 高橋いぶき、鈴木梨羅、山本真鼓、山村侑生、新垣愛恵、戸田妃乃子)
 計 17名

[男子成績]

階 級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
56kg級	PRK 294	DOM 263	KAZ 258	INA 251	KOR 244	JPN 235	TPE 234	USA 232
62kg級	PRK 303	MEX 290	TPE 289	TUR 278	TPE 268	UKR 260	AZE 256	UKR 252
69kg級	KAZ 333	PRK 331	JPN 324	PRK 311	KOR 310	CHN 309	JPN 305	MEX 303
77kg級	KAZ 331	RUS 330	CAN 316	IRI 311	USA 307	YPE 301	CHN 288	IND 276
85kg級	KAZ 365	ARM 364	KOR 354	BLR 350	IRI 343	RUS 335	POL 325	ROU 322
94kg級	RUS 383	KAZ 382	THA 381	LYU 380	LYU 362	BLR 362	IRI 361	CAN 357
105kg級	ARM 401	RUS 390	IRI 381	TUR 365	IRI 353	THA 346	LTU 345	TPE 340
+105kg級	ARM 430	TPE 415	KOR 399	IRI 392	POL 385	GER 383	UKR 381	JPN 380

[男子団体]

1位	TPE	153点	3位	IRI	128点	5位	USA	118点
2位	KAZ	132点	4位	RUS	126点	6位	JPN	108点

[日本男子成績]

階 級	選手名	所 属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
56kg級	妹尾侑哉	(東京国際大学)	97	100	103	133	133	135	235	6位
69kg級	宮本昌典	(東京国際大学)	135	140	145	170	175	179	324	3位
69kg級	近内三孝	(日本大学)	133	133	136	168	175	177	305	7位
94kg級	屋良一郎	(沖縄国際大学)	137	143	146	170	176	182	328	14位
+105kg級	村上英士朗	(日本大学)	165	171	176	201	206	211	377	10位
+105kg級	知念光亮	(沖縄国際大学)	170	175	180	205	213	215	380	10位

[女子成績]

階 級	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
48kg級	PRK 193	DOM 188	INA 177	BRA 170	JPN 168	JPN 161	UKR 160	INA 160
53kg級	PRK 208	CHN 207	THA 197	THA 196	INA 183	IND 180	DOM 171	KAZ 160
58kg級	TPE 249	THA 221	PRK 217	INA 202	KAZ 196	MEX 195	USA 185	JPN 183
63kg級	PRK 236	RUS 226	TPE 223	CHN 222	KAZ 220	CAN 214	KOR 208	UKR 199
69kg級	TPE 236	KAZ 226	PRK 218	UKR 216	TPE 209	USA 207	RUS 207	KOR 206
75kg級	PRK 260	BLR 240	TPE 236	CAN 220	CHN 217	TUR 215	USA 204	KOR 199
90kg級	UKR 246	RUS 242	TPE 235	MEX 232	BEL 227	RUS 209	NZL 184	CZE 167
+90kg級	PRK 299	THA 270	GBR 234	KOR 232	MEX 231	INA 226	UKR 211	TPE 210

[女子団体]

1位	PRK	186点	3位	INA	119点	5位	RUS	106点
2位	TPE	164点	4位	UKR	106点	6位	MEX	105点

[日本女子成績]

階 級	選手名	所 属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
48kg級	高橋いぶき	(金沢学院大学)	67	70	72	91	96	96	168	5位
48kg級	鈴木梨羅	(早稲田大学)	66	66	68	87	91	93	161	6位
58kg級	山本真鼓	(名古屋産業大学)	80	83	83	100	100	105	183	8位
58kg級	山村侑生	(東京国際大学)	75	78	80	97	100	102	180	9位
63kg級	新垣愛恵	(金沢学院大学)	79	82	85	99	102	105	184	15位
69kg級	戸田妃乃子	(早稲田大学)	80	83	83	103	108	112	191	15位

【日本新記録】69kg級 宮本昌典(東京国際大学) C&J 179kg ※大会新記録

(5) チーム招待

当初、日本・韓国・中国三ヶ国の持ち回り大会として、ナショナル選手に次ぐ選手を対象に階級1名を基本に優秀選手を招待し、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として実施する予定であったが、中国の不参加（IWFより過去のドーピング違反行為により8ヶ月の活動禁止措置）により、韓国チームの招待、日本はナショナルBクラスと高校選抜チームを編成し次の大会を開催した。

① 日韓中フрендシップ大会

開催期間 : 平成29年11月11日・11月12日
 招待期間 : 平成29年11月9日～11月14日
 場所 : 北海道士別市 士別総合体育館
 招待人数 : 韓国 指導者10名、男子選手8名、女子選手8名、計26名
 派遣人数 : 日本代表チーム 指導者8名、男子選手8名、女子選手8名、計24名
 高校選抜チーム 指導者8名、男子選手8名、女子選手8名、計24名

参加国：韓国、日本（2チーム）

※JPN日本代表 JPN-HI高校選抜

〔男子成績〕

階級	1位	2位	3位	4位
56kg級	JPN 218	JPN-HI 210		
62kg級	JPN 248	KOR 225	JPN-HI 217	
69kg級	JPN 270	KOR 235	JPN-HI 225	
77kg級	JPN 300	JPN-HI 250		
85kg級	KOR 327	JPN 296	KOR 280	JPN-HI 2602
94kg級	KOR 310	JPN 295	JPN-HI 282	
105kg級	KOR 350	KOR 330	JPN 316	JPN-HI 295
+105kg級	KOR 369	JPN 345	JPN-HI 290	

〔女子成績〕

階級	1位	2位	3位
48kg級	KOR 153	JPN 147	JPN-HI 125
53kg級	KOR 169	JPN 165	JPN-HI 146
58kg級	KOR 188	JPN-HI 178	JPN 173
63kg級	JPN 186	KOR 185	JPN-HI 171
69kg級	JPN 202	KOR 197	JPN-HI 195
75kg級	KOR 203	JPN 196	JPN-HI 171
90kg級	JPN 200	KOR 185	JPN-HI 161
+90kg級	KOR 230	JPN 215	JPN-HI 178

〔団体順位〕

1位 韓国（1位9階級） 2位 日本（1位7階級） 3位 日本（高校選抜）

〔日本男子成績〕

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
56kg級	川上高輝	(九州国際大学)	85	90	95	120	123	128	218	1位
62kg級	千葉健介	(早稲田大学)	108	112	112	140	145	145	248	1位
69kg級	山口直幸	(虹の原特別支援教諭)	115	120	123	145	150	156	270	1位
69kg級	本田大智	(九州国際大学)	123	127	130	165	170	175	300	1位
69kg級	松尾侑宇大	(中央大学)	133	138	140	156	161	161	296	2位
94kg級	二階堂功輝	(沖縄国際大学)	130	130	135	160	160	165	295	2位
+105kg級	福本龍馬	(法政大学)	135	140	145	170	176	180	316	3位
+105kg級	岩崎貴之	(九州国際大学)	155	160	166	175	180	185	345	2位

〔日本女子成績〕

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
48kg級	渡部柚奈	(金沢学院大学)	65	65	65	82	82	82	147	1位
53kg級	安嶋千晶	(早稲田大学)	67	70	70	89	92	95	165	1位
58kg級	内門沙綾	(早稲田大学)	70	72	73	96	100	106	173	1位

63kg級	造田愛永	(香川大学)	80	83	86	98	100	103	186	1位
69kg級	石井未来	(東京国際大学)	86	89	92	106	110	113	202	2位
75kg級	知念ひめの	(平成国際大学)	80	83	86	105	110	118	196	2位
90kg級	森下伊万里	(金沢学院大学)	86	89	92	106	109	111	200	3位
+90kg級	清水里佳子	(立命館大学)	83	87	90	115	120	125	215	2位

〔日本男子成績〕 高校選抜チーム

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
56kg級	山口優人	(新居浜工業高校)	85	90	95	120	123	128	218	1位
62kg級	生頼啓暉	(明石北高校)	108	112	112	140	145	145	248	1位
69kg級	佐藤康太郎	(県農業高校)	115	120	123	145	150	156	270	1位
77kg級	水口雅基	(八代農業高校)	123	127	130	165	170	175	300	1位
85kg級	鷹野玄貴	(都留興譲館高校)	133	138	140	156	161	161	296	2位
94kg級	岡裕智	(法制第二高校)	130	130	135	160	160	165	295	2位
+105kg級	澤登健太郎	(日川高校)	135	140	145	170	176	180	316	3位
+105kg級	大川健人	(大産大付属高校)	155	160	166	175	180	185	345	2位

〔日本女子成績〕 高校選抜チーム

階級	選手名	所属	S1	S2	S3	C&J1	C&J2	C&J3	T	順位
48kg級	橋歩花	(札幌琴似工業高校)	65	65	65	82	82	82	147	1位
53kg級	関根葵	(東亜学園高校)	67	70	70	89	92	95	165	1位
58kg級	橋本堇	(鳥羽高校)	70	72	73	96	100	106	173	1位
63kg級	西村深聡	(鳥羽高校)	80	83	86	98	100	103	186	1位
69kg級	藤田あかね	(須磨友が丘高校)	86	89	92	106	110	113	202	2位
75kg級	田宮淳美	(須磨友が丘高校)	80	83	86	105	110	118	196	2位
90kg級	遠藤海歌	(埼玉栄高校)	86	89	92	106	109	111	200	3位
+90kg級	島田都希	(鳥羽高校)	83	87	90	115	120	125	215	2位

(6) 国際交流大会

アジア近隣諸国との友好親善を目的に公益財団法人日本体育協会が主催する標記大会へ選手団の派遣を行った。

① 日韓中ジュニア交流競技会

派遣期間 : 平成29年8月23日～8月29日
 大会期間 : 平成29年8月25日・8月26日
 場所 : 日本 茨城県高萩市 高萩市文化センター大ホール
 参加人数 : 指導者5名(阪田幸司、岡部伸二、浅野泰典、松藤夏樹、柏木悠里)
 選手15名(男子8名、女子7名)
 (山口優人、生頼啓暉、佐藤康太郎、水口雅基、松山騎士、西田裕、澤登健太郎、手登根武魁、原沙織、前場菜桜、橋本堇、西村深聡、山崎晴子、阿部菜、島田都希)
 計 20名

(7) ナショナルコーチの設置

公益財団法人日本オリンピック委員会のナショナルコーチ事業制度を活用し、ナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチを設置し強化体制を作った。

ナショナルコーチ 小宮山哲雄 氏(選手強化本部長)
 アシスタントナショナルコーチ 細川翔平 氏

(8) 専任コーチの設置

味の素ナショナルトレーニングセンター専用施設の有効活用と選手強化のコーチングの任に当たるために、公益財団法人日本オリンピック委員会の専任コーチ等設置事業制度を活用し、トップアスリート担当・ジュニア担当・NTC担当コーチングディレクター3名を設置し強化指導をした。

トップアスリート担当専任コーチ 三宅義行 氏
 ジュニア担当専任コーチ 高倉玄喜 氏
 NTC担当専任コーチ 柴田里穂 氏

2. コーチ(指導者)の資質向上を目的とする事業

(1) 競技者育成プログラム研修会

初心者からトップレベルの競技者に育成するためには、発達段階に応じた年代別育成プ

プログラム（一貫指導システム）に基づき指導を継続することが重要である。年末に実施するジュニアエリート研修合宿及びジュニアユース研修合宿の指導を統一するために中心となる指導者を対象に事前に研修を行い、合宿を効果的なものにした。

期日 平成29年12月2日・3日
会場 味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者 2名、参加者 12名

- (2) 全国指導者研修会
ウェイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換並びに連携を図ることを目的に開催した。

期日 平成30年2月10日～2月11日
会場 味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者 3名、参加者 26名
内容
・2017年総括及び2020東京オリンピックに向けて
・医科学委員会より報告
・JISS職員による「2017世界選手権大会選手動作解析」報告

- (3) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者専門教科講習会講師の派遣

日本体育協会の委託事業として次の3事業を実施した。

- ① 日本体育協会公認スポーツ指導者「指導員」養成（専門教科）講習会

期日 平成29年9月15日～9月18日
時間 30時間
会場 味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者 7名、受講者 14名

- ② 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「コーチ」養成（専門教科）講習会

期日 平成29年12月23日～12月25日（前期）
期日 平成30年1月6日～1月7日（後期）
時間 40時間
会場 味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者 前期7名、後期8名 受講者 16名

II. 競技者育成事業

1. 研修合宿開催

一貫指導システム（ナショナルトレーニングシステム）の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施した。

ディベロップメントについては、技術解説・指導によりテクニックに改善が見られた。ジュニアスペリオリティーは新しいトレーニングを積極的に取り組んだ。各研修とも、栄養・アンチドーピング指導では選手個人が自覚を持って行動する意識を高めさせた。この事業は、スポーツ振興くじ助成事業の補助を受けて開催した。

- (1) 中学生・高1研修合宿（ディベロップメント）

- ① 都道府県協会に中学生及び高校1年生の優秀競技者の情報提供を依頼し、選手強化委員会の専門グループがセレクションした選手を対象に研修合宿を実施した。

期間：平成29年8月10日～8月13日（3泊4日）
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者：13名
参加者：28名
内容：実技指導・S、C&J2種目のフォーム分析

・補助種目の習得とトレーニング
・筋力強化のトレーニング
・体幹トレーニング
講義
・栄養指導（JISS職員）
・スポーツの心理（JISS職員）
・アンチドーピング（本協会担当者）
・JOCオリンピック講話（柔道海老沼匡選手）
・JOC講習会「セルフリーダーシップ研修会」

- ② 上記①に参加した中学生及び高校1年生の競技者の中から、選手強化委員会の専門グループが厳選した選手を対象に研修合宿を実施した。

期間：平成30年2月10日～2月12日（2泊3日）
場所：味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者：4名
参加者：17名
内容：実技指導・オールラウンドな身体作り

・S、C&J2種目のフォーム分析
・補助種目の習得とトレーニング
・フィジカルトレーニング

- 講義
- ・クライミング&ストレッチ
 - ・栄養指導 (JISS職員)
 - ・心理「競技力向上のためのメンタル強化」(JISS職員)
 - ・JOC講習会「目標達成するには」
- (2) 大学生研修合宿(ジュニア スペリオリティー)
- 各種競技会の成績を基に、ジュニア層の学生をセレクションし、全国から東京都ナショナルトレーニングセンターに集めに研修合宿を実施した。
- 期間 : 平成29年 9月11日～ 9月15日 (4泊5日)
- 場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター
- 指導者 : 5名
- 参加者 : 27名
- 内容 : 実技指導・S, C&J 2種目のフォーム分析
- ・補助種目の習得とトレーニング
 - ・筋力強化のトレーニング
 - ・体幹トレーニング
- 講義
- ・世界情勢 (本協会担当者)
 - ・競技規則 (本協会担当者)
 - ・栄養指導 (JISS職員)
 - ・心理学 (JISS職員)
 - ・英会話講習 (JOC事業)
 - ・アンチドーピング (本協会担当者)
 - ・JOCオリンピック講話(水泳 伊藤華英選手)
 - ・JOC講習会「コミュニケーションスキル」
- (3) ジュニアエリート研修合宿
- 各種競技会の成績を基に、優秀な高校2・3年生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。
- 期間 : 平成29年12月22日～12月27日 (5泊6日)
- 場所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター
- 指導者 : 11名
- 参加者 : 32名
- 内容 : 実技指導・S, C&J 2種目のフォーム分析
- ・補助種目の習得とトレーニング
 - ・筋力強化のトレーニング
 - ・体幹トレーニング
- 講義
- ・競技ルールとマナー (本協会担当者)
 - ・栄養指導「スポーツ選手と栄養」(JISS職員)
 - ・スポーツの心理 (JISS職員)
 - ・アンチドーピング (本協会担当者)
 - ・JOCオリンピック講話(プロボクシング 村田諒太選手)
 - ・JOC講習会「自己分析と目標設定」
- (4) ジュニアユース研修合宿
- 支部協会よりの優秀競技者の情報及び各種競技会の成績を基に、優秀な中学生及び高校1年生を対象に全国を6地区に区分して研修合宿を実施した。
- 期間 : 平成29年12月23日～12月27日 (4泊5日)
- 場所 : 全国を(北海道・東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州)6地区に分けて実施。
- 指導者 : 各地区5名の計30名
- 参加者 : 各地区10名の計60名

2. 2024年対策競技者発掘・育成事業支援

強化として合宿・遠征は実施したが、平成29年度は発掘・育成事業が実施できなかった。本年度は2024パリ・2028ロサンゼルス対策として、地方でできる競技者の発掘・育成事業を実施する。

3. 選手5000人プロジェクト事業

2020年を目標に、選手(役員を除く)を増やすことにより、競技の振興・選手の発掘競技力の向上に繋げるための方策を検討した。7月に石川県で開催された全国中学生選手権大会の事前に小学生の大会を開催したが多くの観客を呼んだ。今後も小学生の普及も兼ね選手発掘を行う。

III. 振興・教育事業

会員の状況及び役員・選手の登録を把握し、競技者規程・競技規則の周知、記録の公認、審判員の養成、国際交流、アンチドーピング活動及びコンプライアンスの徹底等は、競技の透明性や公平・公正性を向上させることに繋がり、安全かつ公正な環境下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件である。スポーツを通じて、他者を尊重しこれを共同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を今後も培っていく。

- (1) 会員の状況
 正会員： 48名 (各都道府県と学生連盟)
 名誉会員： 9名
 賛助会員： 127名

(2) 役員・選手の登録状況

区 分 年 度	役員 役員兼選手	選 手					合 計	
		一 般	大 学	高 校	中 学	小 学		
平成24年度	総数	1, 248	432	504	2, 037	93	30	4, 344
	男子	1, 171	409	432	1, 790	72	20	3, 894
	女子	77	23	72	247	21	10	450
平成25年度	総数	1, 270	401	513	2, 043	111	25	4, 363
	男子	1, 186	378	440	1, 762	82	15	3, 863
	女子	84	23	73	281	29	11	501
平成26年度	総数	1, 267	426	492	2, 077	120	29	4, 411
	男子	1, 181	388	425	1, 762	79	16	3, 851
	女子	86	38	67	315	41	13	560
平成27年度	総数	1, 290	441	521	2, 116	147	39	4, 554
	男子	1, 197	395	446	1, 754	68	17	3, 877
	女子	93	46	75	362	79	22	677
平成28年度	総数	1, 288	494	549	2, 107	142	43	4, 623
	男子	1, 190	440	462	1, 737	81	27	3, 937
	女子	98	54	87	370	61	16	686
平成29年度	総数	1, 308	479	570	2, 178	154	59	4, 748
	男子	1, 207	427	473	1, 764	91	37	3, 999
	女子	101	52	97	414	63	22	749

(3) スポーツ外交推進事業

外務省及びスポーツ庁の委託・支援を受けて、次の事業を実施した。

- ① スポーツ庁の委託事業としての、I F役員ポスト獲得支援事業をいただき、I W F副会長を狙って選挙に応募したが残念ながら当選できなかった、しかし、I W F会長より推薦理事のポストを獲得することが出来た。今後は早期の情報収集、日本の発信能力の向上を高める体制を構築していく。

- 世界ユース選手権大会へ関係者を派遣し、情報収集・分析及び人脈形成、支持の拡大を図った。
 派遣期間：平成29年4月1日～5日
 場 所：タイ王国バンコク市
 派遣人数：6名 (三宅義行会長、加藤智子理事、知念令子理事、岡田純一理事、中嶋耕平理事、上坂忠正アドバイザー)
- アジア選手権大会へ関係者を派遣し、情報収集・分析及び人脈形成、支持の拡大を図った。
 派遣期間：平成29年4月20日～24日
 場 所：トルクメニスタン アシガバード市
 派遣人数：5名 (三宅義行会長、知念令子理事、岡田純一理事、中嶋耕平理事、上坂忠正アドバイザー)
- ワールドマスターズゲームズへ関係者を派遣し、情報収集・分析及び人脈形成、支持の拡大を図った。
 派遣期間：平成29年4月25日～28日
 場 所：ニュージーランド オークランド市
 派遣人数：2名 (古川令治理事、加藤智子理事)
- I W F選挙総会へ関係者を派遣し、情報収集と分析に基づく戦略により、役員ポストを獲得する。

派遣期間：平成29年5月26日～31日

場 所：タイ王国バンコク市

派遣人数：5名（三宅義行会長、加藤智子理事、知念令子理事、岡田純一理事、上坂忠正アドバイザー）

- ② 公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、海外より役員・指導者・選手を招へいし、IF役員ポスト獲得支援に繋げる次の事業を実施した。

「短期受け入れプログラム」

- ・ 招へい事業：ベトナム国交流事業

期 間：平成30年1月17日～26日

人 数：指導者2名、選手6名（男子3名、女子3名）

場 所：東京都味の素ナショナルトレーニングセンター

(4) 生涯スポーツの振興

- ① 2017ワールドマスターズゲームズへ参加

大会会期：平成29年4月22日～27日

場 所：ニュージーランド オークランド市

参加者：男子35名 女子2名参加

結 果：金メダル「12」、銀メダル「10」、銅メダル「4」獲得。

団体優勝	ロシア	216点
2位	ドイツ	205点
3位	フランス	203点
4位	日本	202点
5位	ニュージーランド	202点
6位	オーストラリア	201点
7位	イラン	200点
8位	モンゴル	70点

- ② マスターズワールドカップへ参加

大会会期：平成29年10月27日～30日

場 所：オーストラリア ゴールドコースト

参加人数：255名（男子135名、女子120名）

日本参加者：男子8名 女子2名

結 果：金メダル「6」、銀メダル「1」、銅メダル「2」獲得。

(5) 情報の収集と情報誌の発刊

- ① IWF及びAWFの会議及び大会に代表者を派遣し、情報収集と併せてIWF・AWFとの連携を図るため役員を派遣した。

- ・世界ユース選手権大会（IWF関係会議）

期日：平成29年 4月 1日～12日 場所：タイ王国 バンコク市

会議出席者：三宅義行会長、知念令子理事、加藤智子理事、岡田純一理事、上坂忠正アドバイザー

- ・アジア選手権大会（AWF関係会議）

期日：平成29年 4月20日～30日 場所：トルクメニスタン共和国

会議出席者：三宅義行会長、知念令子理事、岡田純一理事、中嶋耕平理事、上坂忠正アドバイザー

- ・IWF選挙総会

期日：平成29年 5月27日～6月2日 場所：タイ王国 バンコク市

会議出席者：三宅義行会長、知念令子理事、加藤智子理事、岡田純一理事、上坂忠正アドバイザー

- ・世界ジュニア選手権大会（IWF関係会議）

期日：平成29年 6月13日～15日 場所：東京都

会議出席者：三宅義行会長、知念令子理事、岡田純一理事、中嶋耕平理事、上坂忠正アドバイザー

- ・アジアユース&ジュニア選手権大会（AWF関係会議）

期日：平成29年 7月20日～31日 場所：ネパール国 カトマンズ市

会議出席者：知念令子理事、加藤智子理事

- ・世界選手権大会（IWF関係会議）

期日：平成29年11月24日～12月6日 場所：アメリカ合衆国 アナハイム市

会議出席者：三宅義行会長、知念令子理、岡田純一理事、上坂忠正アドバイザー

- ② スポーツ振興くじの助成を受けて、平成28年度年鑑、会報126号、会報127号、

会報128号を発刊した。主な内容は次のとおりである。

年鑑：平成28年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績
協会組織図、協会役員名簿、支部協会役員名簿、平成28年度事業・決算報告、
公認最高記録及び記録樹立表、ランキング表等

会報：平成29年度事業計画・予算、各種事業報告、大会講評、ブロック大会以上の
競技会及び主要国際大会の成績、各種研究成果報告

(6) 用器具等の検定及び公認

記録競技（重量）であることから、バーベルはじめ用器具が適確でなければならない。
本協会器具公認認定規則に基づき、高品質で絶対の安全性と機能性のあることを確認するな
かで申請のあった器具に対して認定手続きをとった。

(7) 顕彰

- ① 本協会表彰規程に基づき、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰を、次のとおり行い
業績を讃えた。また、世界ジュニア選手権大会寄付及び年間免税募金者に対して感謝状贈呈
の顕彰を行った。

記

○功労賞（14名）

後藤節夫（70歳）	岩手県協会	現 理事	第3条2(2)	(昭和46年～46年間)
高橋芳昭（68歳）	岩手県協会	現 副会長	第3条2(2)	(昭和59年～33年間)
小野光一（64歳）	群馬県協会	現 副会長	第3条2(2)	(昭和60年～32年間)
瀬高襄（73歳）	神奈川県協会	現 副理事長	第3条2(2)	(平成2年～27年間)
土屋清敬（75歳）	神奈川県協会	現 会長	第3条2(2)	(昭和37年～55年間)
古賀弘（80歳）	長野県協会	現 理事	第3条2(2)	(平成7年～23年間)
田中寛人（65歳）	長野県協会	現 理事	第3条2(2)	(昭和61年～31年間)
鳴海丈支（71歳）	新潟県協会	会長退任	第3条2(1)	(昭和50年～42年間)
中村英登（61歳）	石川県協会	現 理事	第3条2(2)	(昭和61年～31年間)
古賀丈士（57歳）	愛知県協会	現 理事	第3条2(2)	(平成10年～20年間)
福本幸之助（60歳）	愛知県協会	現 副理事長	第3条2(2)	(平成3年～27年間)
舟戸良裕（69歳）	大阪府協会	現 会長	第3条2(2)	(平成6年～25年間)
藤田善久（68歳）	大阪府協会	現 副会長	第3条2(2)	(平成5年～31年間)
三木康裕（52歳）	徳島県協会	現 理事	第3条2(2)	(昭和63年～29年間)

○優秀選手賞（15名）

第3条 第3項 第1号該当（オリンピック競技・世界選手権大会入賞）

62kg級	糸数陽一（警視庁）	世界選手権大会	第2位
58kg級	安藤美希子（株・キュアリアス）	世界選手権大会	第4位
69kg級	近内三孝（日本大学）	世界選手権大会	第5位
53kg級	八木かなえ（ALSOK）	世界選手権大会	第6位
62kg級	高尾宏明（自衛隊体育学校）	世界選手権大会	第8位

第3条 第3項 第2号該当（国際大会3位以内）

69kg級	宮本昌典（東京国際大学）	世界ジュニア選手権大会	第2位
	〃	ユニバーシアード大会	第3位
56kg級	益子広幸（日本大学）	世界ジュニア選手権大会	第3位
75kg級	神谷 歩（金沢学院大学職員）	アジアインドアゲーム	第3位

第3条 第3項 第4号該当

53kg級	川上高輝（九州国際大学）	日本記録樹立
69kg級	宮本昌典（東京国際大学）	日本記録樹立
77kg級	五百蔵正和（小波津整骨院）	日本記録樹立
85・94kg級	山本俊樹（ALSOK）	日本記録樹立
94kg級	木下竜之（財・福井県体育協会）	日本記録樹立
105kg級	白石宏明（自衛隊体育学校）	日本記録樹立

105kg級	持田龍之輔 (ALSOK)	日本記録樹立
58kg級	安藤美希子 (株・キュアリアス)	日本記録樹立
90kg級	嶋本麻美 (金沢学院大学職員)	日本記録樹立

○優秀指導者賞 (優秀選手を指導した指導者) (9名)

- 松尾謙資：警視庁 ……糸数陽一選手 の指導者
- 三石悦雄：FCアスリートクラブ ……安藤美希子選手 の指導者
- 竹俣壽郎：日本大学 ……近内三孝選手 の指導者
- 堀越典昭：自衛隊体育学校 ……高尾宏明選手 ・白石宏明選手の指導者
- 山田政晴：ALSOK ……八木かなえ選手・山本俊樹選手・持田龍之輔選手の指導者
- 新井健一：日本大学 ……益子広幸選手 の指導者
- 福田登美男：九州国際大学 ……川上高輝選手 の指導者
- 三宅敏博：東京国際大学 ……宮本昌典選手 の指導者
- 菊田三代治：金沢学院大学 ……神谷 歩選手・嶋本麻美選手の指導者

(8) 記録の公認

- ・① 競技・競技会規則Ⅷに基づき、日本記録を認定し公表した。(1月～12月)

年	男子						女子					
	シニア	ジュニア	大学	高校	中学	マスターズ	シニア	ジュニア	大学	高校	中学	マスターズ
平成24年	7	0	6	24	9	34	7	8	6	3	11	
平成25年	0	12	3	30	6	50	2	0	4	0	10	23
平成26年	3	25	13	14	10	29	4	2	4	2	18	6
平成27年	3	11	11	17	8	29	5	0	0	3	10	21
平成28年	5	16	11	6	7	27	12	0	6	2	31	20
平成29年	15	21	15	6	6	18	10	2	0	2	33	4

(9) アンチドーピング活動

スポーツの価値を損ない、フェアプレイの精神に反し、競技者の健康を害する、反社会的行為であるドーピングに対する啓発と検査実施により撲滅に努めた。

① 啓発活動

JADAが作成したドーピング防止ガイドブック (PLAY TRUE)を指導者・選手に配付と同時に講習会を行い情報を提供したこと、文書にて各都道府県協会に各種情報を伝達した。また、全国高等学校女子選手権大会・全国高等学校選手権大会ではアウト・リーチを行った。

スポーツ振興くじの助成を受けて次のドーピング防止啓発活動推進事業を実施した。

「内容」 世界の状況、TUE、検査手順、日常生活での注意点 (病院で、薬局で、Global DROの使い方)、ADAMSの居場所情報の提出、未成年者への対応等

- ・ 世界ジュニア代表選手合宿 (5月3日) 20名参加
 - ・ 中学・高校生研修合宿 (8月11日) 41名参加
 - ・ 国体関東ブロック大会 (8月18日) 65名参加
 - ・ 国体九州ブロック大会 (8月20日) 68名参加
 - ・ 国体東海ブロック大会 (8月26日) 45名参加
 - ・ 大学生研修合宿 (9月13日) 32名参加
 - ・ ジュニアエリート研修合宿 (12月24日) 45名参加
 - ・ ユースエリート研修合宿 (12月26・27日) 45名参加
 - ・ 関東高校選抜大会 (1月12・13・14日) 144名参加
 - ・ 中国・四国高校選抜大会 (1月20日) 26名参加
- 計532名

② ドーピング検査

スポーツ振興くじの助成を受けて、次の競技会検査を実施した。

- 全日本学生個人戦大会 (4月27日) 6検体
- 全日本選手権大会 (5月26日～28日) 25検体
- 全日本社会人選手権大会 (11月21日～23日) 6検体
- 全日本大学対抗選手権大会 (12月23日) 8検体
- 世界ジュニア (6月18日～23日) 92検体

日本体育協会が国民体育大会にて検査を実施した。
国民体育大会 (10月 1日～ 5日)

(10) 審判員の資質向上

① 審判講習会の開催

本競技は、判定に対する抗議権がない。判定は公正・公平であり選手に不利益があつてはならない。審判員の資質の向上を目的に次の講習会を開催した。

- ・ 対象者： 国内1級審判資格、国際審判資格所持者（義務研修）及び平成29・30年度に国内1級審判を受験希望する審判員を対象とした。

・ 講習会： 北海道ブロック

期日： 平成29年 8月19日（土） 13:00～
場所： 北海道 士別市総合体育館
参加者： 講師 加納 修
受講者 9名

東北ブロック

期日： 平成29年 8月18日（金） 13:00～
場所： 秋田県 三種町 琴丘総合体育館
参加者： 講師 佐藤ひろみ
受講者 47名

関東ブロック

期日： 平成29年 9月23日（土） 13:30～
場所： 東京都 味の素ナショナルトレーニングセンター
参加者： 講師 豊田廣和 磯村賢一
受講者 37名

北信越ブロック

期日： 平成29年 8月26日（土） 14:00～
場所： 福井県 小浜市 サンホテルやまね
参加者： 講師 長界幸男
受講者 33名

東海ブロック

期日： 平成29年 8月26日（土） 10:00～
場所： 静岡県 清水ナショナルトレーニングセンター
参加者： 講師 安島将門
受講者 16名

近畿ブロック

期日： 平成29年 8月19日（土） 13:00～
20日（日） 13:00～
場所： 兵庫県 尼崎市記念公園ベイコム総合体育館
参加者： 講師 島田隆宏
受講者 19日42名 20日12名

中国ブロック

期日： 平成29年 8月19日（土） 14:00～
場所： 広島県 佐伯区スポーツセンター
参加者： 講師 長谷章一
受講者 15名

四国ブロック

期日： 平成29年 8月19日（土） 9:00～
場所： 徳島県 県立科学技術高校会議室
参加者： 講師 瀬部浩司
受講者 21名

九州ブロック

期日： 平成29年 8月18日（金） 13:00～
場所： 長崎県諫早市 諫早観光ホテル道具屋
参加者： 講師 守 昌宏
受講者 31名

沖縄（特別開催）

期日： 平成29年 8月27日（日） 13:00～
場所： 沖縄県豊見城市 市民会館
参加者： 講師 守 昌宏

受講者 15名

マスターズ対象

期日：平成29年 8月17日(木)
場所：新潟県津南町 グリーンピア津南会議室
参加者：講師 豊田廣和
受講者 23名

- ② 審判員の審査と認定
公認審判員台帳及び公認審判員名簿の整理と下記の審査認定を行った。

国際審判員の推薦(認定)			国内審判員の認定			
1級	2級	合計	1級	2級	3級	合計
4名	2名	6名	17名	27名	61名	105名

(11) 国際大会へのテクニカルオフィシャルの派遣

- 世界ユース選手権大会
期日：平成29年4月1日～8日
場所：タイ王国 バンコク市
派遣者：知念令子理事、島田隆宏理事
- アジア選手権大会
期日：平成29年4月24日～30日
場所：トルクメニスタン共和国 アシガバット市
派遣者：知念令子理事、鶴野裕子審判員、牛山成剛審判員
- 世界ジュニア選手権大会
期日：平成29年6月16日～6月23日
場所：日本 東京都大田区
派遣者：知念令子理事 遠藤千景審判員、中嶋耕平理事
- アジアユース・ジュニア選手権大会
期日：平成29年7月7日～15日
場所：ネパール国 カトマンズ市
派遣者：知念令子理事、末広誠審判員 佐古浩審判員 新井谷正代審判員
- 世界選手権大会
期日：平成29年11月24日～12月7日
場所：アメリカ合衆国 アナハイム市
派遣者：加藤智子理事、島田隆宏理事、
- ユニバーシアード競技大会
期日：平成29年8月15日～20日
場所：台湾 台北
派遣者：磯村賢一審判員

(12) 日本体育協会事業「ジャパンライジングスタープロジェクト」への参加

日本体育協会の平成29年度事業(委託先は拠点県)であり、オリンピック競技大会7競技(水泳：飛込み、ボート、ハンドボール、自転車、ラグビー女子、ソフトボール女子、ウエトリフティング)が種目転向型：タレント発掘事業に指名された。
全国9ブロックより1300名余りが参加、2次、3次、最終選考を経てウエトリフティングは中学1年生から高校1年生までの6名を選考した。居住県での練習、拠点県(山梨県)での合宿を実施した。平成29年・30年度の事業である。全国の運動能力の高い選手を発掘する良い機会である。

(13) 競技の普及振興

- ホームページの充実整備及びSNSによる情報発信
法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び一般のユーザーの要望にも応えられるようタイムリーな情報発信等充実整備に努めた。

IV. 大会開催事業

1. 国際大会開催事業

- ① 2020年オリンピック東京大会に向けての、選手育成強化、国際基準での競技会運営及び国際理解親善を目的に2017年世界ジュニア選手権大会を開催した。

主催 国際ウエトリフティング連盟(IWF)
主管 公益社団法人日本ウエトリフティング協会(JWA)
会期 平成29年6月16日～23日(競技会会期：6月13日～24日)
会場 大田区総合体育館
参加国 中国 タイ エクアドル ラトビア ウクライナ ロシア フィジー

アルメニア ブラジル チュニジア コロンビア ルーマニア ブルガリア
 メキシコ 日本 アメリカ スペイン 韓国 トルコ モンゴル イタリア
 台北 カナダ ベトナム オーストラリア カザフスタン ハンガリー
 チリ 英国 ウズベキスタン ジョージア イラン カタール ネベズエラ
 スロベニア ドイツ アルジェリア フランス アゼルバイジャン イラク
 レバノン サウジアラビア プエルトルコ イスラエル ガーナ デンマーク
 ニューージーランド パキスタン

参加選手数 男子43カ国150名、女子29カ国104名、合計23カ国254名
 競技成績 (団体成績、個人成績、日本選手の成績)は、次世代育成事業：国際競技会への派遣の項に記載)

2. 全国大会開催事業

トップレベルの選手育成及び競技の普及振興並びに生涯スポーツ振興のため、以下の全国大会を開催した。

- ① 大会名 : 第63回全日本学生個人選手権大会・第28回全日本女子学生選手権大会
 大会期 : 平成29年4月27日～4月30日
 場所 : 大阪府 羽曳野市立総合スポーツセンター
 内容 : 参加数 (男子 130名、女子 53名)
 最優秀選手 (男子 +105kg級 村上英士朗 日本大学)
 (女子 48kg級 高橋いぶき 金沢学院大学)
- ② 大会名 : 第77回全日本男子・第31回全日本女子選手権大会
 大会期 : 平成29年5月26日～5月28日
 場所 : 栃木県 栃木県立県南体育館
 内容 : 参加数 (男子 77名、女子 71名)
 新記録樹立 (日本新記録11、ジュニア日本新記録1、大学新記録1、
 中学新4)
- ③ 大会名 : 第35回全日本マスターズ選手権大会
 大会期 : 平成29年6月9日～6月11日
 場所 : 新潟県 津南町 グリーンピア津南体育館
 内容 : 参加数 (男子 143名、女子 11名)
 新記録樹立 (マスターズ新記録 男子19)
- ④ 大会名 : 第19回全国高等学校女子選手権大会
 大会期 : 平成29年7月21日～7月23日
 場所 : 北海道 札幌市西区体育館
 内容 : 参加校数 (26都道府県 40校 185人)
 団体成績 第1位 鳥羽高校 77点 第5位 須磨友が丘高校 43点
 第2位 埼玉栄高校 62点 第6位 飯田高校 43点
 第3位 田村高校 48点 第7位 海洋高校 38点
 第4位 光陵高校 46点 第8位 豊見城高校 33点
- ⑤ 大会名 : 第31回全国男子中学生・第16回全国女子中学生選手権大会
 大会期 : 平成29年8月23・24日
 場所 : 石川県 珠洲市健民体育館
 内容 : 参加数 (男子 58名、女子 50名)
 新記録樹立 (中学新記録13)
 最優秀選手 (女子 44kg級 山下笑佳 緑丘中学校)
 (男子 77kg級 佐々木征 蛇田中学校)
- ⑥ 大会名 : 第64回全国高等学校選手権大会
 大会期 : 平成29年8月2日～8月5日
 場所 : 福島県 福島明成高校体育館
 内容 : 参加者数 (439名)
 団体成績 第1位 明石南高校 50点 第5位 富士北稜高校 31点
 第2位 尼崎工業高校 43点 第6位 羽生実業高校 30点
 第3位 須磨友が丘高校 38点 第7位 坂井高校 30点
 第4位 新居浜南高校 37点 第8位 海洋高校 29点
- ⑦ 大会名 : 第72回国民体育大会
 大会期 : 平成29年10月1日～10月5日
 場所 : 愛媛県新居浜市 新居浜市民会館
 内容 : 参加数 成年男子 160名、少年男子 137名
 女子 32名
 天皇杯 第1位 兵庫県 116点 皇后杯 第1位 兵庫県 39点
 第2位 愛媛県 89点 第2位 千葉県 30点
 第3位 山梨県 87点 第3位 沖縄県 26点
 第4位 沖縄県 75点 第4位 大阪府 23点
 第5位 富山県 72点 第5位 埼玉県 20点
 第5位 香川県 72点 第5位 京都府 20点
 第7位 東京都 71点 第5位 福岡県 20点
 第8位 三重県 67点 第8位 茨城県 18点

- ⑧ 大会名 : 新記録樹立 (日本新記録5 ジュニア日本新記録 1)
 大会期 : 第62回全日本学生新人選手権大会
 会 場 : 平成29年10月20・21日
 内 容 : 埼玉県上尾市 スポーツ総合センター
 参加数 (男子 87名、女子 22名)
- ⑨ 大会名 : 文部科学大臣杯第62回全日本大学対抗選手権大会2部
 大会期 : 平成29年11月3日～11月5日
 会 場 : 大阪府 羽曳野コロセアム
 内 容 : 参加数 (24大学、142名)
 団体成績
 「男子」 第1位 大阪商業大学 128点 第5位 立命館大学 76点
 第2位 平成国際大学 112点 第6位 沖繩国際大学 69点
 第3位 名古屋産業大学 91点 第7位 近畿大学 60点
 第4位 拓殖大学 87点 第8位 びわこ成蹊大学 60点
- ⑩ 大会名 : レディースカップ第8回全日本女子選抜選手権大会
 大会期 : 平成29年11月19日・11月20日
 会 場 : 福井県 小浜市民文化センター
 内 容 : 参加数 (一般 62名、高校 75名)
 団体成績 「一般の部」 「高校の部」
 第1位 金沢学院大学A 48点 第1位 鳥羽高校 32点
 第2位 早稲田大学A 28点 第2位 光陵高校 19点
 第3位 日本体育大学 28点 第3位 新居浜南高校 19点
 第4位 東京国際大学A 20点 第4位 滑川高校 16点
 第5位 琉球クラブ 18点 第5位 田村高校 15点
 第6位 金沢学院大学B 17点 第6位 前橋育英高校 14点
 第6位 須磨友が丘高校 14点
 最優秀選手 一般の部 53kg級 三宅宏実 (いちご株式会社)
 高校の部 58kg級 橋本 董 (鳥羽高校)
 新記録樹立 (日本新記録3)
- ⑪ 大会名 : 内閣総理大臣杯第54回全日本社会人選手権大会
 大会期 : 平成29年11月21日～11月23日
 会 場 : 福井県 小浜市民文化センター
 内 容 : 参加数 (150名)
 団体成績
 第1位 自衛隊体育学校 119点 第5位 かいじクラブ 55点
 第2位 キングギドラ 75点 第6位 ALSOK 51点
 第3位 警視庁 70点 第7位 チーム福井 49点
 第4位 チームめじろん 63点 第8位 チームももっち 42点
 最優秀選手 (文部科学大臣賞) 69kg級 五百蔵正和 (小波津整骨院)
 新記録樹立 (日本新記録1)
- ⑫ 大会名 : 文部科学大臣杯第63回全日本大学対抗選手権大会1部
 会 期 : 文部科学大臣杯第18回全日本大学対抗女子選手権大会
 会 場 : 平成29年12月23日～12月25日
 内 容 : 埼玉県さいたま市 さいたま市記念総合体育館
 参加数 (男子: 10大学 80名、女子: 13大学 50名)
 団体成績 「男子」 「女子」
 第1位 日本大学 147点 第1位 早稲田大学 67点
 第2位 法政大学 119点 第1位 東京国際大学 67点
 第3位 九州国際大学 116点 第3位 金沢学院大学 57点
 第4位 早稲田大学 99点 第4位 日本体育大学 47点
 第5位 明治大学 99点 第4位 平成国際大学 47点
 第6位 東京国際大学 85点 第6位 立命館大学 28点
 第7位 中央大学 62点
 第8位 金沢学院大学 58点
- ⑬ 大会名 : 新記録樹立 (大学新記録1)
 大会期 : JOCジュニアオリンピックカップ第38回全日本ジュニア選手権大会
 会 場 : 平成30年3月8日～3月10日
 内 容 : 埼玉県上尾市 上尾研修センター
 参加数 (男子: 90名、女子: 74名)
 JOCジュニアオリンピックカップ授与者
 女子 48kg級 鈴木 梨羅 (早稲田大学)
 男子 69kg級 山根 大地 (日本大学)
 新記録樹立 (日本新記録1、ジュニア日本新記録2、大学新記録1、
 中学新記録10)
- ⑭ 大会名 : 第14回全日本学生選抜大会
 大会期 : 平成30年3月10日・11日
 会 場 : 埼玉県上尾市 上尾研修センター

- 内容 : 参加数 (男子 : 90名、女子 : 74名)
 最優秀選手 (男子 69kg級 近内三孝 日本大学)
 優秀選手 (女子 48kg級 高橋いぶき 金沢学院大学)
- ⑮ 大会名 : 第33回全国高等学校選抜大会
 大会期 : 平成30年3月25日～3月28日
 会場 : 石川県 金沢市総合体育館
 内容 : 参加者数 (男子116名、女子61名)
 最優秀選手 (男子 69kg級 佐藤康太郎 宮城県農業高校)
 " (女子 63kg級 橋本 華 鳥羽高校)

V スポーツ医科学研究事業との連携に基づく強化

- ① 国立スポーツ科学センターから次のハイパフォーマンス事業を受ける。
 ア) 栄養、心理、トレーニング、情報、科学の各分野が連携した医・科学支援を、継続して依頼する。
 イ) ウェイトリフティングの技術について、世界ジュニア選手権大会及び国内各種大会での高速ビデオカメラ撮影、動作解析し、選手・指導者へのフィードバックを依頼すると共に、その内容について全国指導者研修会・会報等を通して周知を図り競技力の向上を目指した。また、スマートシステム(動画配信システム)を運用し、全日本選手権大会、全日本ジュニア大会の様子もネット配信した。そして、男女ナショナル合宿でもフィードバックし、研究をした。
 ウ) フィットネスの面では、体力の把握に基づくトレーニング効果の検証とトレーニングの方向性の客観的指標の提示を依頼した。また、選手のメディカルチェックもこない健康状態も調べた。
- ② ミズノスポーツ振興財団の助成により、次の調査研究がなされた。全日本ジュニア、大学生選抜大会、全国高校選抜大会、述べ8日間で373名(男子212名、女子161名)の選手が参加した競技会で、12件の外傷と4件の疾病が発生し、平均の外傷発生率は一日あたり、1.07%、疾病の発生率は1日当たり0.29%であった(表1)。昨年度の同大会の調査(国内大会限定)の外傷発生率2.44%、疾病発生率0.09%と比較すると外傷発生率は減少傾向を示し、並行して行っている外傷・障害予防のためのAT指導の有用性が示唆された。競技時における外傷・障害発生率は海外の主要な大会の関する報告よりは低値であるが、障害の有病率は比較的高いのが実情である。
- 本年も、引き続き従来の外傷・障害調査を対象とする競技会の数を増やすとともに、国内で開催の世界ジュニア選手権大会においても調査し比較検討した。この結果により、チーム単位で実施可能な予防プログラムの素案の作成をした。

大会	開催期間	実日数	参加選手総数	男子選手	女子選手	外傷	疾病	外傷発生率(%/D)	疾病発生率
1) 第38回全日本ジュニア選手権	H30/03/08-10	3	151	81	70	4	3	0.88%	0.66%
2) 第14回全日本学生選抜大会	H30/03/10-11	2	52	27	25	1	0	0.96%	0.00%
3) 第33回全国高等学校選抜大会	H30/03/25-27	3	170	104	66	7	1	1.37%	0.20%
合計		8	373	212	161	12	4	1.07%	0.29%

- ③ 主要競技会において医科学委員会の医師等が医事運営にあたり、競技会時の安全管理・危機管理の向上をめざすと共に選手へのサポート活動を行った。

VI. 会務

本会の目的及び業務を達成するため、次の会議を開催した。

(1) 総会の開催

① 平成29年度定時社員総会

- ・ 日時 平成29年6月25日(土)
- ・ 会場 東京都北区西が丘 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室
- ・ 議題

- (1) 平成28年度事業報告・決算報告について
- (2) 平成29年度第1次補正予算案について

② 平成29年度臨時社員総会

- ・ 日時 平成30年3月17日(土)
- ・ 会場 上野精養軒 会議室
- ・ 議題

- (1) 平成30年度事業計画及び予算について
- (2) 名誉会員の推薦について

(2) 理事会の開催

① 第1回理事会

- ・ 日 時 平成29年6月3日(土)
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 3
- ・ 議 題
 - (1) 平成29年度定時社員総会について
 - (2) 平成28年度事業・決算報告について
 - (3) 平成29年度第一次補正予算案について
 - (4) 平成29・30年第名誉役員について
 - (5) 2017世界ジュニア選手権大会開催について

② 第2回理事会

- ・ 日 時 平成29年6月25日(土)
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 3
- ・ 議 題
 - (1) 平成29・30年度会長の選任について
 - (2) 平成29・30年度副会長、専務理事、常務理事の選任について
 - (3) 平成29・30年度各委員会委員の選任について
 - (4) 2020東京オリンピック大会テストイベント開催について
 - (5) 公認審判員の規程一部改定について
 - (6) 正会員の承認について

③ 第3回理事会

- ・ 日 時 平成30年9月9日(土)
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 3
- ・ 議 題
 - (1) 2017世界ジュニア選手権大会決算報告について
 - (2) 規程の整備について
 - (3) 理事退任における名誉会員の推薦について
 - (4) 2020東京オリンピック大会テストイベント開催について
 - (5) 2017日・韓・中フレンドシップ大会日本開催について
 - (6) 2017世界選手権大会選手選考について
 - (7) 国内審判員の認定について
 - (8) その他

④ 第4回理事会

- ・ 日 時 平成29年12月17日(日)
- ・ 会 場 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室 3
- ・ 議 題
 - (1) 2017世界ジュニア選手権大会決算報告及び今後の資金繰りについて
 - (2) 読売新聞社「日本スポーツ賞」推薦について
 - (3) 平成28年度事業対象スポーツ振興事業助成金の実態調査事項の改善方策について
 - (4) 平成29年度優秀選手・指導者の表彰について
 - (5) 平成30年度年間行事計画案について
 - (6) 事務職員派遣について
 - (7) 委員会より
 - (8) その他

⑤ 第5回理事会

- ・ 日 時 平成30年3月17日(土)
- ・ 会 場 上野精養軒会議室
- ・ 議 題
 - (1) 平成29年度臨時社員総会について
 - ・ 平成30年度事業計画案について
 - ・ 平成30年度事業予算案について
 - ・ 名誉会員(参与)の推薦について
 - (2) 公認審判員の認定について
 - (3) 全国大会の審判編成について
 - (4) 2017年新記録認定について
 - (5) IWFのルール変更に伴う日本実施の対応について
 - (6) 委員会より
 - (7) その他
 - ・ 賛助会員入会について

VII. 財政の確立及び長期計画

- (1) 各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本体育協会等に対し、助成金・補助金・委託金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充当財源の確保を行った。

財政基盤確立のため、定款に基づく賛助会員の募集拡大に努めた。また、公益法人認定に伴

い、免税募金（寄付金控除等）措置を活用しての募金に努めた。
協賛企業の開拓を積極的に行い新たに一つの企業と協賛契約を結んだ。

- (2) 2020年に向けて次の計画を策定し万全を期すこととした。
- ① 目標値を設定してのオリンピック対策特別強化プランを策定し、PDCAサイクルの確認に基づく強化を推進する。
 - ② 5000人対策プロジェクト設置による普及振興策を推進する。
 - ③ IWF・AWF役員ポストの確保対策及び国際大会の日本開催による国際発信力、国際大会運営能力等の国際力の強化を図る。
 - ④ 組織運営（ガバナンス、コンプライアンスの向上）に努める。
 - ⑤ 財政基盤の向上策として、カテゴリーを設定し協賛金収入拡大を図る。

【附属明細書の作成について】

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しない。

平成29年度公益社団法人日本ウエイトリフティング協会決算に関する書類

(1) 貸借対照表

平成30年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	増 減
	円	円	円
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,938,416	18,565,507	△ 1,627,091
貯蔵品	452,354	759,997	△ 307,643
未収金	138,387,621	52,465,722	85,921,899
前払費用	0	10,514,911	△ 10,514,911
流動資産合計	155,778,391	82,306,137	73,472,254
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	7,000,652	7,000,652	0
基本財産合計	7,000,652	7,000,652	0
(2) 特定資産			
選手強化特定資産	5,452,217	11,846,993	△ 6,394,776
特定資産合計	5,452,217	11,846,993	△ 6,394,776
(3) その他の固定資産			
什器備品	10	10	0
ソフトウェア	1,586,900	2,267,000	△ 680,100
出資金	100,000	0	100,000
長期前払費用	0	1,209,600	△ 1,209,600
その他の固定資産合計	1,686,910	3,476,610	△ 1,789,700
固定資産合計	14,139,779	22,324,255	△ 8,184,476
資産合計	169,918,170	104,630,392	65,287,778
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	76,000,000	53,000,000	23,000,000
未払金	78,553,559	29,920,703	48,632,856
預り金	182,525	197,910	△ 15,385
流動負債合計	154,736,084	83,118,613	71,617,471
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	154,736,084	83,118,613	71,617,471
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
補助金等			
日本オリンピック委員会交付金	5,452,217	11,846,993	△ 6,394,776
指定正味財産合計	5,452,217	11,846,993	△ 6,394,776
(うち特定資産への充当額)	(5,452,217)	(11,846,993)	(△ 6,394,776)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	15,182,086	21,511,779	△ 6,329,693
負債及び正味財産合計	169,918,170	104,630,392	65,287,778

(2) 正味財産増減計算書

平成29年4月1日 から 平成30年3月31日 まで

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	1,078	1,346	△ 268
受取会費			
正会員受取会費	2,400,000	2,400,000	0
賛助会員受取会費	1,380,000	1,280,000	100,000
その他の受取会費			
受取登録料			
受取役員登録料			
役員登録料	5,000,000	3,312,000	1,688,000
役員兼選手登録料	5,592,000	6,992,000	△ 1,400,000
受取選手登録料			
一般選手登録料	2,345,000	2,470,000	△ 125,000
大学生選手登録料	1,692,000	1,647,000	45,000
高校生選手登録料	4,358,000	4,214,000	144,000
中学生選手登録料	155,000	142,000	13,000
小学生選手登録料	59,000	43,000	16,000
事業収益			
認定料			
器具認定料	777,000	510,000	267,000
審判認定料	664,000	546,000	118,000
審判更新認定料	3,267,000	141,000	3,126,000
競技規則集等販売料	1,090,000	23,000	1,067,000
審判バッジ販売料	74,500	207,000	△ 132,500
受取負担金等			
受取出版物負担金	480,000	480,000	0
受取審判講習会負担金	626,000	62,000	564,000
受取審判受験料	210,000	280,000	△ 70,000
80年史負担金	3,430,000	1,450,000	1,980,000
大会合宿参加者負担金	2,390,000	47,042,678	△ 44,652,678
世界ジュニア選手権大会入場料	365,000	0	365,000
世界ジュニア選手権大会参加者 マスターズワールドカップ	73,532,695	0	73,532,695
0	0	2,571,674	
壮行会報告会受取会費	80,000	1,660,000	△ 1,580,000
受取補助金等			
日本オリンピック委員会補助金	98,370,880	85,455,826	12,915,054
日本オリンピック委員会交付金	404,508	200,000	204,508
スポーツ振興基金助成金	2,874,000	8,000,000	△ 5,126,000
スポーツ振興くじ助成金	64,171,000	17,210,000	46,961,000
日本体育協会交付金	711,000	866,250	△ 155,250
ミズノスポーツ振興財団助成金	2,500,000	2,000,000	500,000
国際ウエイトリフティング連盟助成金	915,360	0	915,360
東京都補助金	10,000,000	0	10,000,000
高知県助成金	0	510,000	△ 510,000
受取委託金等			
日本体育協会委託金	1,186,088	774,476	411,612
国体実行委員会委託金	1,604,420	829,560	774,860
国際情報戦略強化事業委託金	5,438,430	8,852,190	△ 3,413,760
受取補助金振替額	43,031,776	46,501,155	△ 3,469,379
受取寄付金			
受取免税募金	13,350,000	8,650,000	4,700,000
受取一般寄付金	0	3,000,000	△ 3,000,000
80周年記念事業	0	390,000	△ 390,000

科 目	当年度	前年度	増減
マスタース・ワールド・カップ	0	8,991,625	△ 8,991,625
受取協賛金			
スポンサー協賛金	38,912,000	28,800,000	10,112,000
その他協賛金	438,213	1,317,076	△ 878,863
マスタース・ワールド・カップ	0	3,050,000	△ 3,050,000
受取協力金			
協力金	788,400	756,000	32,400
雑収益			
受取利息	737	1,454	△ 717
受取広告協賛金	16,280,000	7,294,400	8,985,600
雑収益	365,035	781,209	△ 416,174
為替差益	0	2,090	△ 2,090
経常収益計	411,310,120	311,708,009	99,602,111
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	11,893,274	11,732,058	161,216
法定福利費	822,381	1,173,865	△ 351,484
通勤手当	587,795	784,855	△ 197,060
旅費交通費	23,069,073	21,604,510	1,464,563
旅行雑費	1,394,800	1,700,000	△ 305,200
渡航費	20,475,269	21,720,864	△ 1,245,595
滞在費	16,323,616	16,808,306	△ 484,690
宿泊費	117,511,600	91,043,310	26,468,290
雑役務費	68,464,132	43,681,670	24,782,462
印刷製本費	3,737,034	2,077,272	1,659,762
通信運搬費	904,326	308,169	596,157
会議費	161,700	84,158	77,542
交際費	140,386	345,240	△ 204,854
保険料	1,167,019	1,226,764	△ 59,745
消耗品費	28,253,284	7,168,732	21,084,552
調査研究費	539,696	501,098	38,598
使用料及び賃借料	46,852,050	25,570,580	21,281,470
使用料及び賃借料（共通）	3,328,508	3,375,606	△ 47,098
諸謝金	15,298,571	12,096,560	3,202,011
委託費	7,374,878	9,556,089	△ 2,181,211
助成金	2,900,000	3,000,000	△ 100,000
負担金	3,443,514	2,682,869	760,645
顕彰費	1,220,904	2,131,477	△ 910,573
式典開催費	0	3,828,659	△ 3,828,659
大会開催費	17,131,376	19,157,094	△ 2,025,718
支払手数料	761,344	250,908	510,436
雑費	0	24,208	△ 24,208
備品費	1,281,125	921,600	359,525
支払利息	1,054,825	0	1,054,825
80周年記念事業	4,903,634	5,477,563	△ 573,929
IWFディベロップメントプログラム	1,012,928	0	1,012,928
管理費			
給与手当	1,432,586	1,418,542	14,044
法定福利費	91,375	116,096	△ 24,721
退職給付費用	625,000	0	625,000
通勤手当	65,310	77,623	△ 12,313
福利厚生費	0	30,000	△ 30,000
旅費交通費	569,357	452,830	116,527
印刷製本費	302,459	349,724	△ 47,265
通信運搬費	998,333	1,312,254	△ 313,921
会議費	168,000	23,770	144,230
消耗品費	128,227	1,408,603	△ 1,280,376
減価償却費	680,100	665,250	14,850

科 目	当年度	前年度	増減
支払利息	0	167,057	△ 167,057
使用料及び賃借料（共通）	590,859	599,219	△ 8,360
租税公課	78,700	79,180	△ 480
支払手数料	3,075,928	2,137,890	938,038
委託費	235,872	0	235,872
雑費	193,889	166,898	26,991
経常費用計	411,245,037	319,039,020	92,206,017
当期経常増減額	65,083	△ 7,331,011	7,396,094
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失			
為替差損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	65,083	△ 7,331,011	7,396,094
一般正味財産期首残高	9,664,786	16,995,797	△ 7,331,011
一般正味財産期末残高	9,729,869	9,664,786	65,083
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
日本オリンピック委員会交付金	36,637,000	33,348,148	3,288,852
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 43,031,776	△ 46,501,155	3,469,379
当期指定正味財産増減額	△ 6,394,776	△ 13,153,007	6,758,231
指定正味財産期首残高	11,846,993	25,000,000	△ 13,153,007
指定正味財産期末残高	5,452,217	11,846,993	△ 6,394,776
III 正味財産期末残高	15,182,086	21,511,779	△ 6,329,693

(3) 正味財産増減計算書 内訳表

平成29年4月1日 から 平成30年3月31日 まで

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業				
	円		円	円	円
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収入			1,078		1,078
受取会費					
正会員受取会費	1,200,000		1,200,000		2,400,000
賛助会員受取会費	1,380,000				1,380,000
受取登録料					
受取役員登録料					
役員登録料	5,000,000				5,000,000
役員兼選手登録料	5,592,000				5,592,000
受取選手登録料					
一般選手登録料	2,345,000				2,345,000
大学生選手登録料	1,692,000				1,692,000
高校生選手登録料	4,358,000				4,358,000
中学生選手登録料	155,000				155,000
小学生選手登録料	59,000				59,000
事業収益					
認定料					
器具認定料	777,000				777,000
審判認定料	664,000				664,000
審判更新認定料	3,267,000				3,267,000
競技規則集等販売料	1,090,000				1,090,000
審判バッグ販売料	74,500				74,500
受取負担金等					
受取出版物負担金	480,000				480,000
受取審判講習会負担金	626,000				626,000
受取審判受験料	210,000				210,000
80年史負担金	3,430,000				3,430,000
大会合宿参加者負担金	2,390,000				2,390,000
世界ジュニア選手権大会入場料	365,000				365,000
世界ジュニア選手権大会参加者	73,532,695				73,532,695
壮行会報告会受取会費	80,000				80,000
受取補助金等					
日本オリンピック委員会補助金	98,370,880				98,370,880
日本オリンピック委員会交付金	404,508				404,508
スポーツ振興基金助成金	2,874,000				2,874,000
スポーツ振興くじ助成金	64,171,000				64,171,000
日本体育協会交付金	711,000				711,000
ミズノスポーツ振興財団助成金	2,500,000				2,500,000
国際ウエイトリフティング連盟助成金	915,360				915,360
東京都補助金	10,000,000				10,000,000
受取委託金等					
日本体育協会委託金	1,186,088				1,186,088
国体実行委員会委託金	1,604,420				1,604,420
国際情報戦略強化事業委託金	5,438,430				5,438,430
受取補助金振替額	43,031,776				43,031,776
受取寄付金					
受取免税募金	13,350,000				13,350,000
受取協賛金					
スポンサー協賛金	30,812,000		8,100,000		38,912,000
その他協賛金	438,213				438,213
受取協力金					
協力金	788,400				788,400
雑収益					
受取利息	737				737
受取広告協賛金	16,280,000				16,280,000
雑収益	365,035				365,035
経常収益計	402,009,042		9,301,078		411,310,120

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合 計
	公 1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業				
(2) 経常費用					
事業費					
給与手当	11,893,274				11,893,274
法定福利費	822,381				822,381
通勤手当	587,795				587,795
旅費交通費	23,069,073				23,069,073
旅行雑費	1,394,800				1,394,800
渡航費	20,475,269				20,475,269
滞在費	16,323,616				16,323,616
宿泊費	117,511,600				117,511,600
雑役務費	68,464,132				68,464,132
印刷製本費	3,737,034				3,737,034
通信運搬費	904,326				904,326
会議費	161,700				161,700
交際費	140,386				140,386
保険料	1,167,019				1,167,019
消耗品費	28,253,284				28,253,284
調査研究費	539,696				539,696
使用料及び賃借料	46,852,050				46,852,050
使用料及び賃借料（共通）	3,328,508				3,328,508
諸謝金	15,298,571				15,298,571
委託費	7,374,878				7,374,878
助成金	2,900,000				2,900,000
負担金	3,443,514				3,443,514
顕彰費	1,220,904				1,220,904
大会開催費	17,131,376				17,131,376
支払手数料	761,344				761,344
備品費	1,281,125				1,281,125
支払利息	1,054,825				1,054,825
80周年記念事業	4,903,634				4,903,634
IWFディベロップメントプログラム	1,012,928				1,012,928
管理費					
給与手当			1,432,586		1,432,586
法定福利費			91,375		91,375
退職給付費用			625,000		625,000
通勤手当			65,310		65,310
旅費交通費			569,357		569,357
印刷製本費			302,459		302,459
通信運搬費			998,333		998,333
会議費			168,000		168,000
消耗品費			128,227		128,227
減価償却費			680,100		680,100
使用料及び賃借料（共通）			590,859		590,859
租税公課			78,700		78,700
支払手数料			3,075,928		3,075,928
委託費			235,872		235,872
雑費			193,889		193,889
経常費用計	402,009,042		9,235,995		411,245,037
当期経常増減額	0		65,083		65,083
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0		0		0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0		0		0
当期経常外増減額	0		0		0
当期一般正味財産増減額	0		65,083		65,083
一般正味財産期首残高					9,664,786
一般正味財産期末残高					9,729,869

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合 計
	公1 ウエイトリフティング 競技の普及・振興事業			
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
日本オリンピック委員会交付金	36,637,000	0		36,637,000
一般正味財産への振替額	.			
一般正味財産への振替額	△ 43,031,776	0		△ 43,031,776
当期指定正味財産増減額	△ 6,394,776	0		△ 6,394,776
指定正味財産期首残高				11,846,993
指定正味財産期末残高				5,452,217
III 正味財産期末残高				15,182,086

(4) 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 平成27年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正、内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

平成19年3月31日以前は旧定額法によっている。平成19年4月1日以降は定額法によっている。

②無形固定資産

ソフトウェアについては、利用期間(5年)に基づく定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の経理処理は、税込方法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	7,000,652	0	0	7,000,652
小 計	7,000,652	0	0	7,000,652
特定資産				
選手強化特定資産	11,846,993	36,637,000	43,031,776	5,452,217
小 計	11,846,993	36,637,000	43,031,776	5,452,217
合 計	18,847,645	36,637,000	43,031,776	12,452,869

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	7,000,652	(0)	(7,000,652)	(0)
小 計	7,000,652	(0)	(7,000,652)	(0)
特定資産				
選手強化特定資産	5,452,217	(5,452,217)	(0)	(0)
小 計	5,452,217	(5,452,217)	(0)	(0)
合 計	12,452,869	(5,452,217)	(7,000,652)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
什器備品	1,600,318	1,600,308	10
ソフトウェア	3,400,500	1,813,600	1,586,900
合 計	5,000,818	3,413,908	1,586,910

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
交付金						
指導者育成	日本体育協会	0	711,000	711,000	0	
選手強化関連	日本オリンピック委員会	11,846,993	36,637,000	43,031,776	5,452,217	指定正味財産
ジュニアオリンピック大会交付金	日本オリンピック委員会	0	200,000	200,000	0	
選手強化関連	日本オリンピック委員会	0	204,508	204,508	0	
補助金						
選手強化事業	日本オリンピック委員会	0	98,370,880	98,370,880	0	
委託金						
国体役員派遣	国体実行委員会	0	1,604,420	1,604,420	0	
講習会等開催	日本体育協会	0	1,186,088	1,186,088	0	
国際情報戦略	スポーツ庁	0	5,438,430	5,438,430	0	
助成金						
競技会開催	日本スポーツ振興センター	0	2,874,000	2,874,000	0	
競技会開催	東京都	0	10,000,000	10,000,000	0	
国際大会開催	日本スポーツ振興センター	0	32,698,000	32,698,000	0	
選手発掘育成	日本スポーツ振興センター	0	9,826,000	9,826,000	0	
アンチドーピング活動	日本スポーツ振興センター	0	20,111,000	20,111,000	0	
スポーツ情報提供	日本スポーツ振興センター	0	1,178,000	1,178,000	0	
ドーピング防止啓発	日本スポーツ振興センター	0	358,000	358,000	0	
選手強化事業	ミスノスポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	
大会開催	ミスノスポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	
調査研究事業	ミスノスポーツ振興財団	0	500,000	500,000	0	
ディベロップメントプログラム	国際エイリアンフットボール連盟	0	915,360	915,360	0	
合 計		11,846,993	224,812,686	231,207,462	5,452,217	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高
経常収益への振替額	
当事業年度での目的支出	43,031,776
合 計	43,031,776

8. 引当金の明細

引当金の内訳並びに、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第33条に規定する「重要な固定資産の明細」及び「引当金の明細」は財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細書は作成しない。

(5) 財産目録

(単位：円)

平成30年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金 普通預金	手元保管	運転資金として	47,544	
		みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082 みずほ銀行渋谷支店 No. 3316355 みずほ銀行渋谷支店 No. 9104554 ゆうちょ銀行 00140-4-129576	運転資金として	16,890,872	
	貯蔵品		<現金預金計>	16,938,416	
		パッチ、審判手帳、審判手帳カバー、認定シール	公益目的事業の用に供する。	452,354	
	未収金		<貯蔵品計>	452,354	
		JOC会計	公益目的事業の収益である。	24,274,490	
		スポーツ振興くじ		40,760,500	
		スポーツ振興基金		1,383,000	
		選手強化キャンペーン その他		0 71,969,631	
			<未収金計>	138,387,621	
流動資産合計				155,778,391	
(固定資産)	基本財産	定期預金	みずほ銀行渋谷支店 No. 3613503	運用益を法人管理の財源として いる。	7,000,652
				<基本財産計>	7,000,652
	特定資産	選手強化特定資産	みずほ銀行渋谷支店 No. 0250103 みずほ銀行渋谷支店 No. 1987082	JOC交付金として受け入れた 選手強化資金であり、指定正味 財産として管理している。	5,452,217
				<特定資産計>	5,452,217
	その他固定 資産	什器備品	パソコンなど、合計10点		10
		ソフトウェア	登録管理システムなどソフトウェア2点		1,586,900
		出資金	東京信用金庫		100,000
		<その他の固定資産計>	1,686,910		
固定資産合計				14,139,779	
資産合計				169,918,170	
(流動負債)	未払金	JOC等に対する未払額	公益目的事業の費用である。	78,553,559	
			<未払金計>	78,553,559	
	短期借入金	東京信用金庫新座支店	公益目的事業実施のための借入	76,000,000	
			<短期借入金計>	76,000,000	
	預り金	源泉所得税(給与・報酬)		職員等ほかからの預かり分	63,840
源泉所得税(謝金)			指導者等ほかからの預り金	118,685	
		<預り金計>	182,525		
流動負債合計				154,736,084	
(固定負債)					
固定負債合計				0	
負債合計				154,736,084	
正味財産				15,182,086	

監事報告書

平成30年6月4日

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会
会長 三宅 義行 殿

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 池 永 知 樹



公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 米 田 進



公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

監事 花 見 修



私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行及び会計の監査を行いました。

その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

理事の業務執行については、理事会に出席し会長及び業務執行理事等から業務状況の報告を受けるとともに、業務執行にかかる重要な関係書類の閲覧を行い業務及び財産の状況等を調査しました。

また、当該年度の計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録にかかる会計帳簿、関係書類についても閲覧、精査を行いました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務執行に関する不正な行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産の状態及び正味財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示していると認めます。

監査報告書

平成30年6月4日

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会
会長 三宅 義行 殿

公認会計士 脇田 伸秀



私は、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会に平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の下記の財務諸表及び収支計算書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

記

I 財務諸表

1. 一般会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
2. 日本オリンピック委員会補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
3. スポーツ振興基金補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
4. スポーツ振興くじ補助事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
5. 指導者育成事業会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
6. 選手強化キャンペーン会計の貸借対照表及び正味財産増減計算書
7. 貸借対照表総括表
8. 正味財産増減計算書総括表
9. 財産目録

II 収支計算書

1. 一般会計の収支計算書
2. 日本オリンピック委員会補助事業会計の収支計算書
3. スポーツ振興基金補助事業会計の収支計算書
4. スポーツ振興くじ補助事業会計の収支計算書
5. 指導者育成事業会計の収支計算書
6. 選手強化キャンペーン会計の収支計算書
7. 収支計算書総括表

この財務諸表等の作成責任者は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積もりの評価を含め全体として財務諸表等の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

監査の結果、私の意見は次のとおりである。

- (1) 財務諸表は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠して、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会の平成29年度末現在の財政状態並びに同事業年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。
- (2) 収支計算書は、公益社団法人日本ウエイトリフティング協会の平成29年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

【第2号議案】

平成30年度第1次補正予算案

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

第1次補正予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

公益社団法人 日本ウエイトリフティング協会
一般会計

一般事業
平成30年 4月 1日

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,000]	[0]	[2,000]
基本財産受取利息	2,000	0	2,000
受取会費	[3,700,000]	[0]	[3,700,000]
正会員受取会費	2,400,000	0	2,400,000
賛助会員受取会費	1,300,000	0	1,300,000
受取登録料	[19,710,000]	[0]	[19,710,000]
受取役員登録料	(10,800,000)	(0)	(10,800,000)
役員登録料	3,440,000	0	3,440,000
役員兼選手登録料	7,360,000	0	7,360,000
受取選手登録料	(8,910,000)	(0)	(8,910,000)
一般	2,500,000	0	2,500,000
大学	1,710,000	0	1,710,000
高校	4,440,000	0	4,440,000
中学生	200,000	0	200,000
小学生	60,000	0	60,000
事業収益	[2,520,000]	[△ 500,000]	[2,020,000]
認定料	(2,360,000)	(△ 500,000)	(1,860,000)
器具認定料	1,500,000	△ 500,000	1,000,000
審判認定料	710,000	0	710,000
審判更新認定料	150,000	0	150,000
競技規則集販売料収入	100,000	0	100,000
参加者受取負担	(60,000)	(0)	(60,000)
国際大会審判員	60,000	0	60,000
受取補助金等	[1,700,000]	[590,000]	[2,290,000]
受取助成金	(500,000)	(0)	(500,000)
(財) ミズノスポーツ振興財団	500,000	0	500,000
受取委託金	(1,200,000)	(590,000)	(1,790,000)
国体実行委員会委託金	1,200,000	0	1,200,000
国際情報戦略強化事業委託金	0	590,000	590,000
受取負担金	[760,000]	[0]	[760,000]
受取審判講習会負担金	80,000	0	80,000
受取審判受験料	200,000	0	200,000
受取出版物負担金	480,000	0	480,000
受取寄付金	[2,530,000]	[0]	[2,530,000]
受取免税募金	2,530,000	0	2,530,000
雑収益	[251,000]	[0]	[251,000]
受取利息	1,000	0	1,000
雑収益	250,000	0	250,000
受取協賛金	[46,500,000]	[0]	[46,500,000]
受取協賛金	46,000,000	0	46,000,000
受取その他の協賛金	500,000	0	500,000
受取協力金	[600,000]	[190,000]	[790,000]
シンボルアスリート協力金収入	600,000	190,000	790,000
他会計からの繰入額	[200,000]	[0]	[200,000]
キャンペーン会計からの繰入額	200,000	0	200,000
経常収益計	78,473,000	280,000	78,753,000
(2) 経常費用			
事業費	[15,434,000]	[2,550,000]	[17,984,000]
旅費交通費	(5,890,000)	(360,000)	(6,250,000)
委員会旅費	1,700,000	0	1,700,000
審判講習会講師旅費支出	50,000	0	50,000
国際大会審判等役員旅費支出	1,140,000	360,000	1,500,000
国際会議・情報収集旅費	3,000,000	0	3,000,000
消耗品費	(750,000)	(0)	(750,000)
各種パッチ	400,000	0	400,000

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
消耗品費	350,000	0	350,000
印刷製本費	(340,000)	(0)	(340,000)
各種大会賞状等印刷費	200,000	0	200,000
感謝状作成費	40,000	0	40,000
その他	100,000	0	100,000
手数料	(10,000)	(0)	(10,000)
振込手数料	10,000	0	10,000
会議費	(50,000)	(0)	(50,000)
会議賄い	50,000	0	50,000
賃借料	(60,000)	(0)	(60,000)
会議室借損料	60,000	0	60,000
負担金	(674,000)	(0)	(674,000)
IWF・AWF加盟負担金	120,000	0	120,000
日本体育協会加盟負担金	400,000	0	400,000
日本オリンピック委員会加盟負担金	100,000	0	100,000
JADA加盟負担金	50,000	0	50,000
競技団体連合会加盟負担金	4,000	0	4,000
助成金	(2,900,000)	(1,400,000)	(4,300,000)
全国高校女子選手権大会助成金	350,000	200,000	550,000
全日本マスターズ選手権大会助成金	250,000	200,000	450,000
全国中学生選手権大会助成金	300,000	200,000	500,000
全日本社会人選手権大会助成金	500,000	200,000	700,000
全日本学生連盟主管大会助成金	1,000,000	200,000	1,200,000
全国高校選抜大会助成金	300,000	200,000	500,000
全国高校選手権大会助成金	200,000	200,000	400,000
大会派遣費	(1,200,000)	(0)	(1,200,000)
国民体育大会派遣費	1,200,000	0	1,200,000
頭彰費	(500,000)	(0)	(500,000)
役員・選手頭彰費	500,000	0	500,000
調査研究費	(500,000)	(0)	(500,000)
スポーツ医科学研究費	500,000	0	500,000
交流費	(500,000)	(0)	(500,000)
国際・アジア連盟関係	500,000	0	500,000
大会開催費	(2,060,000)	(200,000)	(2,260,000)
全日本ジュニア選手権大会開催	1,500,000	200,000	1,700,000
国体女子種別	560,000	0	560,000
業務委託費	(0)	(590,000)	(590,000)
国際情報戦略強化事業委託金	0	590,000	590,000
管理費	[19,128,000]	[1,020,000]	[20,148,000]
給料手当	(9,000,000)	(0)	(9,000,000)
事務職員給料	9,000,000	0	9,000,000
福利厚生費	(50,000)	(0)	(50,000)
福利厚生費	50,000	0	50,000
会議費	(50,000)	(100,000)	(150,000)
総会・理事会等会議賄	50,000	100,000	150,000
旅費交通費	(960,000)	(240,000)	(1,200,000)
役員・事務職員交通費	960,000	240,000	1,200,000
通信運搬費	(910,000)	(0)	(910,000)
電話・FAX費	360,000	0	360,000
郵券代・メール便等	550,000	0	550,000
消耗品費	(250,000)	(0)	(250,000)
事務用品費	200,000	0	200,000
消耗品費	50,000	0	50,000
印刷製本費	(450,000)	(0)	(450,000)
手帳・各種シール等	300,000	0	300,000
その他	150,000	0	150,000
賃借料	(3,539,000)	(680,000)	(4,219,000)
事務室賃借料	1,900,000	0	1,900,000

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
会議室使用料	150,000	50,000	200,000
コピー機等賃借料	520,000	0	520,000
コピー機使用料	120,000	30,000	150,000
サーバー管理料	60,000	0	60,000
NTT器具リース料	30,000	0	30,000
パソコン賃借料	150,000	0	150,000
サーバーラック使用料	13,000	0	13,000
セキュリティシステム	50,000	300,000	350,000
クラウドサービス利用料	26,000	300,000	326,000
登録システム管理料	520,000	0	520,000
保険料	(760,000)	(0)	(760,000)
社会保険料	760,000	0	760,000
租税公課費	(90,000)	(0)	(90,000)
租税公課費	90,000	0	90,000
手数料	(1,929,000)	(0)	(1,929,000)
公認会計士報酬手数料	380,000	0	380,000
税理士・司法書士報酬手数料	400,000	0	400,000
コンサルティング報酬手数料	500,000	0	500,000
振込手数料	200,000	0	200,000
インターネット手数料等	54,000	0	54,000
ホームページ手数料	240,000	0	240,000
EB手数料	80,000	0	80,000
その他手数料	75,000	0	75,000
支払利息	900,000	0	900,000
雑費	(240,000)	(0)	(240,000)
慶弔費・受信料等	100,000	0	100,000
諸会費	40,000	0	40,000
その他	100,000	0	100,000
他会計への繰出額	[11,772,000]	[△ 4,339,000]	[7,433,000]
JOC会計への繰出額	8,073,000	△ 4,339,000	3,734,000
スポーツ振興基金会計への繰出額	1,004,000	0	1,004,000
スポーツ振興くじ会計への繰出額	2,695,000	0	2,695,000
経常費用計	46,334,000	△ 769,000	45,565,000
評価損益等調整前当期経常増減額	32,139,000	1,049,000	33,188,000
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	32,139,000	1,049,000	33,188,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	32,139,000	1,049,000	33,188,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	32,139,000	1,049,000	33,188,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	32,139,000	1,049,000	33,188,000

第1次補正予算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

公益社団法人 日本ウエイトリフティング協会
日本オリンピック委員会補助事業特別会計

一般事業
平成30年 4月 1日

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	[300,000]	[0]	[300,000]
参加者受取負担	(300,000)	(0)	(300,000)
海外合宿アメリカ	300,000	0	300,000
受取補助金等	[112,005,000]	[△ 14,367,000]	[97,638,000]
受取助成金	(1,000,000)	(0)	(1,000,000)
(財) ミズノスポーツ振興財団	1,000,000	0	1,000,000
受取日本オリンピック委員会補助金	(111,005,000)	(△ 14,367,000)	(96,638,000)
国内合宿	35,100,000	△ 3,400,000	31,700,000
海外合宿アメリカ	2,680,000	470,000	3,150,000
海外合宿グアム	2,211,000	289,000	2,500,000
日韓競技力向上スポーツ交流	5,396,000	△ 1,471,000	3,925,000
チーム派遣日韓中大会	2,160,000	240,000	2,400,000
チーム派遣世界選手権大会	13,968,000	0	13,968,000
チーム派遣アジア競技大会	720,000	80,000	800,000
海外合宿ドイツ	4,113,000	△ 963,000	3,150,000
次世代国内合宿	12,520,000	△ 160,000	12,360,000
次世代世界ジュニア選手権大会	9,960,000	△ 1,960,000	8,000,000
次世代アジアユースジュニア選手権大会	9,640,000	△ 3,040,000	6,600,000
次世代世界大学選手権大会	9,610,000	△ 2,110,000	7,500,000
国際審判員派遣	2,342,000	△ 2,342,000	0
優秀コーチ招へい事業	585,000	0	585,000
雑収益	[1,000]	[0]	[1,000]
受取利息	1,000	0	1,000
他会計からの繰入額	[8,073,000]	[△ 4,339,000]	[3,734,000]
一般会計からの繰入額	8,073,000	△ 4,339,000	3,734,000
経常収益計	120,379,000	△ 18,706,000	101,673,000
(2) 経常費用			
事業費	[120,379,000]	[△ 18,706,000]	[101,673,000]
チーム派遣	(18,720,000)	(0)	(18,720,000)
日韓中大会派遣	2,400,000	0	2,400,000
チーム派遣世界選手権大会	15,520,000	0	15,520,000
アジア競技大会	800,000	0	800,000
日韓競技力向上スポーツ交流事業	(5,396,000)	(△ 1,471,000)	(3,925,000)
日韓競技力向上スポーツ交流	5,396,000	△ 1,471,000	3,925,000
強化合宿	(50,370,000)	(△ 6,452,000)	(43,918,000)
国内合宿	39,000,000	△ 5,000,000	34,000,000
海外合宿アメリカ	2,980,000	520,000	3,500,000
海外合宿グアム	3,820,000	△ 902,000	2,918,000
海外合宿ドイツ	4,570,000	△ 1,070,000	3,500,000
コーチ招へい	(650,000)	(0)	(650,000)
優秀コーチ招へい事業	650,000	0	650,000
次世代育成強化事業	(41,730,000)	(△ 7,270,000)	(34,460,000)
国内合宿	12,520,000	△ 160,000	12,360,000
世界大学選手権大会派遣	9,610,000	△ 2,110,000	7,500,000
世界ジュニア選手権大会開催	9,960,000	△ 1,960,000	8,000,000
アジアユースジュニア選手権大会	9,640,000	△ 3,040,000	6,600,000
国際審判員等養成	(3,513,000)	(△ 3,513,000)	(0)
国際審判員派遣	3,513,000	△ 3,513,000	0
経常費用計	120,379,000	△ 18,706,000	101,673,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0

科 目	補正前予算額	補正額	補正後予算額
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0

